

【問題 109】 10歳の女児。う蝕治療を希望して来院した。自閉スペクトラム症と診断されており、歯科治療を行うにあたり行動調整法を用いることになった。その際に用いたツールの一部(別冊午前 No.37)を別に示す。

適用した対応法はどれか。2つ選べ。

- a TEACCH 法
- b モデリング法
- c タイムアウト法
- d トークンエコノミー法

▶ 歯科診療補助

No. 37

選択肢考察

- a TEACCH 法は自閉スペクトラム症の小児に対する行動調整法として、最も広く用いられている方法である。絵や写真など視覚的な素材を用いて、理解しやすい工夫を行う。
- × b モデリング法は、適切に受診ができている他の小児の治療状況をモデルとして見せて、自分でもできると感じてもらう方法である。
- × c タイムアウト法は不適応行動がみられた小児を、正の強化因子(褒め言葉などの快刺激)が受けられない場所や状況に一定時間、隔離する方法である。
- d トークンエコノミー法は適応行動がみられた小児に、正の強化因子であるトークン(代用貨幣)としてシール、ぬり絵、カードなどを本人に選択させ、適切に受診できた様子へのご褒美とする方法である。図に「100ポイントたまったらごほうびをもらえるよ!」とあるためトークンエコノミー法を用いていることがわかる。



正解 a, d

DH 25:P 869

【問題 110】 ある検査機器の装着時の写真(別冊午前 No.38)を別に示す。

判断できるのはどれか。1つ選べ。

- a 頻脈
- b 高血圧
- c 低血糖
- d 低体温

▶ 歯科診療補助

No. 38

選択肢考察

- a 写真の機器はパルスオキシメータである。脈拍数(頻脈、正常、徐脈)と経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)を判断できる。
- × b 高血圧は血圧計で判断する。
- × c 低血糖は血糖測定器で判断する。
- × d 低体温は体温計で判断する。



正解 a

DH 25:P 892

【問題 1】 体重 65kg の成人男性の血液量はどれか。1つ選べ。

- a 1L  
b 2L  
c 5L  
d 10L

▶生理学

## 選択肢考察

- c 成人男性の血液量は、体重 1kg 当り約 80mL (体重の約 8%) とされている。  
 $65\text{kg} \times 80\text{mL}/\text{kg} = 5,200\text{mL} \approx 5\text{L}$

正解 c

📖 要点集 341:P20

【問題 2】 口蓋筋とその作用および咽頭の構造を後方からみた模式図を示す。



最も軟口蓋を挙上する筋はどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶解剖学

## 選択肢考察

- a ①は口蓋帆挙筋である。軟口蓋を最も挙上する。  
 × b ②は口蓋帆張筋である。軟口蓋を外側方に緊張させる。  
 × c ③は口蓋舌筋である。口蓋舌弓内にあり、軟口蓋を引き下げる。  
 × d ④は口蓋咽頭筋である。口蓋咽頭弓内にあり、軟口蓋を引き下げる。

正解 a

📖 DH25:P536

【問題 3】 血圧上昇作用をもつのはどれか。1つ選べ。

- a カルシトニン  
b バソプレッシン  
c 活性型ビタミンD  
d 副甲状腺ホルモン

▶生理学

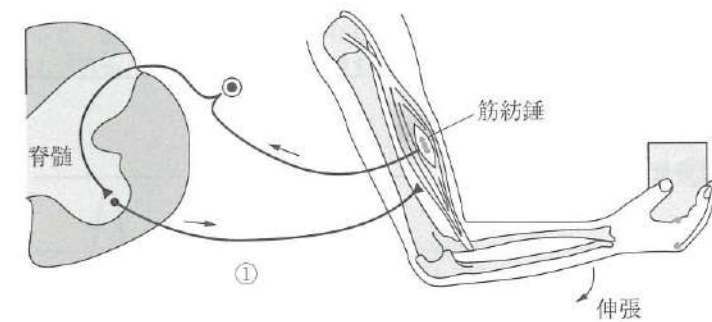
## 選択肢考察

- × a カルシトニンは破骨細胞に作用し、破骨細胞の活性を抑制する。その結果、骨吸収が抑制され、血中カルシウム濃度が低下する。  
 ○ b バソプレッシンは下垂体後葉から分泌される抗利尿ホルモンで、尿量は減少し血圧が上昇する。  
 × c 活性型ビタミンDは腎臓から分泌され、骨芽細胞を介して破骨細胞を活性化させる。その結果、血中カルシウム濃度が上昇する。  
 × d 副甲状腺ホルモンは副甲状腺から分泌され、活性型ビタミンD同様、骨芽細胞を介して破骨細胞を活性化させる。その結果、血中カルシウム濃度が上昇する。

正解 b

📖 要点集 341:P22

【問題 4】 伸張反射の図を示す。



①の神経線維はどれか。1つ選べ。

- a Aα線維  
b Aβ線維  
c Aγ線維  
d Aδ線維

▶解剖学

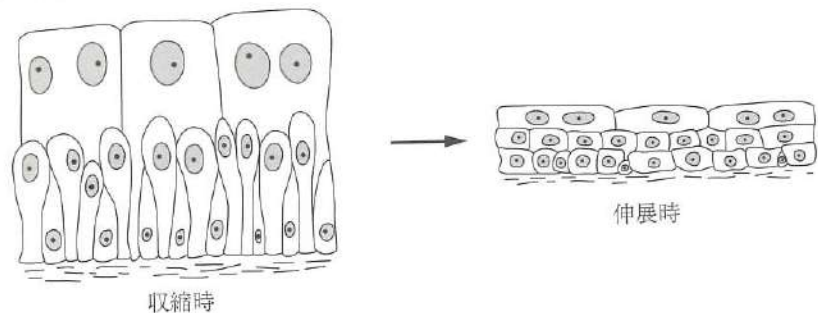
## 選択肢考察

- a 伸張反射とは、筋紡錘の一次感覚終末を受容器とした反射で、筋の長さを一定に保つことに有効に働く反射である。①は伸長された筋を支配する運動神経線維(Aα線維)である。  
 × b Aβ線維は触覚や圧覚に関与する求心性の神経線維である。  
 × c Aγ線維は筋紡錘を支配する速心性の神経線維である。  
 × d Aδ線維は痛覚に関与する求心性の神経線維である。

正解 a

📖 DH25:P59

[問題 5] 上皮組織の模式図を示す。



この組織はどれか。1つ選べ。

- a 円柱上皮
- b 移行上皮
- c 重層扁平上皮
- d 多列腺毛上皮

▶解剖学

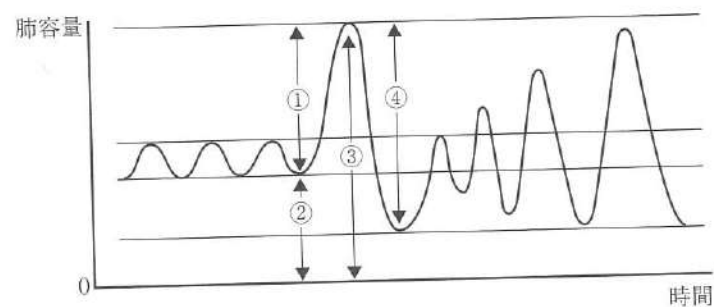
選択肢考察

- b 模式図は移行上皮を示し、尿管や膀胱などに存在する。尿を貯える際は上皮細胞は伸展し、薄い扁平上になるが、尿を排泄すると上皮細胞は円柱状に形を変え、厚くなる。

正解 b

📖 要点集 341:P16

[問題 6] 肺気量の区分を図に示す。



全肺気量はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

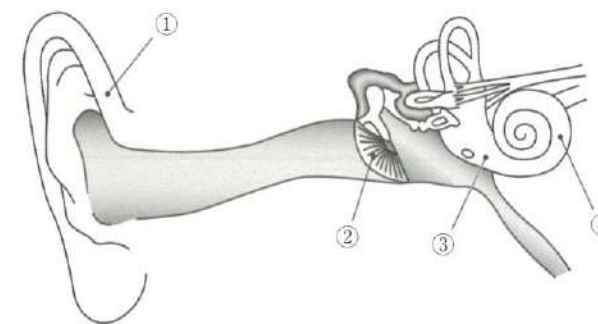
選択肢考察

- × a ①は1回換気量に予備吸気量を加えた量である。
- × b ②は機能的残気量を示す。
- c ③は全肺気量を示す。肺活量に残気量を加えた量である。
- × d ④は肺活量を示す。

正解 c

📖 要点集 341:P23

[問題 7] 聴覚器の模式図を示す。



内部に平衡感覚の受容器があるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- × a ①は耳介である。
- × b ②は鼓膜である。
- c ③は前庭部である。前庭部内に有毛細胞が存在し、重力により内リンパの移動で興奮する。
- × d ④は蝸牛である。外から入ってきた音は鼓膜を通じて耳小骨へ伝わり、前庭、半規管、蝸牛で感受される。

正解 c

📖 要点集 341:P26

[問題 8] 女性ホルモンによって発育促進がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a *Tannerella forsythia*
- b *Prevotella intermedia*
- c *Actinomyces naeslundii*
- d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*

▶微生物学

選択肢考察

- × a *Tannerella forsythia* は red complex を構成する菌の1つで、歯周病発症に大きく関わっている。
- b *Prevotella intermedia* は黒色色素産生性のグラム陰性偏性嫌気性桿菌で、ヒトの歯肉溝から分離される。多くの歯周炎の原因菌の1つにあげられるが、卵胞ホルモン(エストロゲン)により生育が促進されるため、妊娠性歯肉炎と関連が深い菌である。
- × c *Actinomyces naeslundii* は唾液やプラーク中に生息する菌で、口腔常在菌の1つである。根面う蝕や放線菌症の原因菌でもある。
- × d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は、侵襲性歯周炎の原因菌の1つである。

正解 b

📖 DH25:P88

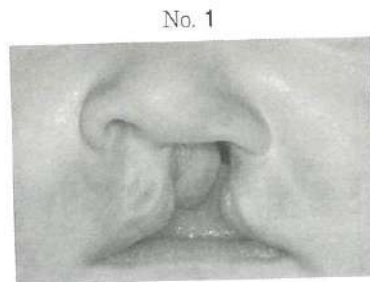
[問題 9] 新生児の顔面写真(別冊午後 No. 1)を別に示す。  
この疾患の発生に関連するのはどれか。1つ選べ。  
a 上顎突起と下顎突起  
b 上顎突起と内側鼻突起  
c 前頭隆起と内側鼻突起  
d 外側鼻突起と内側鼻突起

▶病理学

選択肢考察

- × a 上顎突起と下顎突起の癒合不全は横顔裂の原因となる。
- b 写真は片側性唇顎(口蓋)裂である。片側性唇顎口蓋裂は上顎突起と内側鼻突起との癒合不全が原因となる。
- × c、× d 前頭隆起(前頭鼻突起)は眼裂より上部の前額部を形成する。この隆起(突起)から外側鼻突起、内側鼻突起が形成されるため、これらの癒合不全は考えにくい。

正解 b



要点集 341:P11

[問題 10] 乾酪壊死を認める特異性炎はどれか。1つ選べ。  
a 結核  
b コレラ  
c ベスト  
d 蜂窩織炎

▶病理学

選択肢考察

- a 特異性炎は肉芽腫性炎の1種で、特定の病原体に対する特異的な反応として肉芽腫が形成されるものをいう。結核は結核菌の感染症で、肺に結核結節という肉芽腫が形成される。結核結節の中心部には、乳白色でチーズに似た凝固壊死(乾酪壊死)を認める。
- × b、× c、× d コレラはカタル性炎、ベストは出血性炎、蜂窩織炎は化膿性炎に該当する。

正解 a

DH25:P64

要点

● 組織変化による炎症の分類

分類	例	
変質性炎	劇症肝炎	
滲出性炎	漿液性炎	火傷、虫さされ時の水疱
	カタル性炎	アレルギー性鼻炎、コレラ
	線維索性炎	ジフテリア、心外膜炎
	化膿性炎	膿瘍、蜂窩織炎、蓄膿
	出血性炎	インフルエンザ肺炎、ベスト、出血性大腸炎
	壊疽性炎	肺壞疽、壊疽性口内炎
増殖性炎	肉芽腫性炎(特異性炎)	結核、梅毒、ハンセン病

[問題 11] ヒトパピローマウイルスの感染が疑われるのはどれか。1つ選べ。  
a 手足口病  
b 子宮頸がん  
c 性器ヘルペス  
d 流行性耳下腺炎

▶微生物学

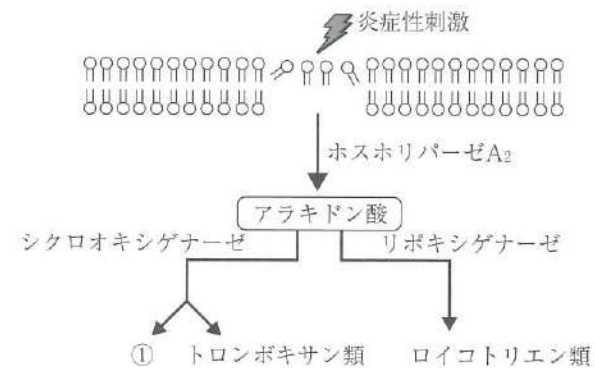
選択肢考察

- × a 手足口病はコクサッキーウイルスやエンテロウイルスの感染症である。
- b 子宮頸がんは子宮頸部に発生する悪性腫瘍で、好発年齢は20~40代である。性交によるヒトパピローマウイルスの感染を主原因とし、喫煙など様々な原因も関与する。
- × c 性器ヘルペスは単純ヘルペスウイルスの感染症である。
- × d 流行性耳下腺炎はムンプスウイルスの感染症である。

正解 b

DH25:P93

[問題 12] アラキドン酸カスケードの図を示す。



①が作用を増強させるのはどれか。1つ選べ。

- a プラジキニン
- b リポコルチン
- c プロスタグランジン
- d ロキソプロフェンナトリウム

▶薬理学

選択肢考察

- a プラジキニンは内因性発痛物質で、血漿タンパクから合成される。プロスタグランジンは発痛閾値を低下させ、プラジキニンの作用を増強させる。
- × b リポコルチンはステロイド性抗炎症薬によって産生されるタンパクで、ホスホリパーゼA<sub>2</sub>の活性を阻害することで、アラキドン酸遊離を抑制する。
- × c ①はプロスタグランジンである。プロスタグランジンはシクロオキシゲナーゼの作用によりアラキドン酸から合成される。
- × d ロキソプロフェンナトリウムは非ステロイド性抗炎症薬で、シクロオキシゲナーゼを阻害することで抗炎症作用を示す。

正解 a

DH25:P106

[問題 13] 梅毒第3期でみられるのはどれか。1つ選べ。

- a パラ疹
- b ゴム腫
- c Koplik斑
- d 硬性下疳

▶病理学

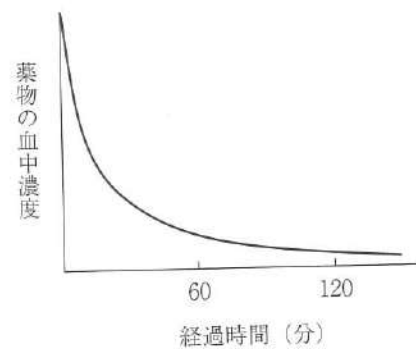
選択肢考察

- × a パラ疹(皮膚の紅斑)は梅毒第2期でみられる。
- b ゴム腫は梅毒第3期でみられる。
- × c Koplik斑は麻疹でみられる口腔内症状である。
- × d 硬性下疳は梅毒第1期でみられる。

正解 b

📖 要点集 341:P46

[問題 14] 薬物の血中濃度変化を図に示す。



投与方法はどれか。1つ選べ。

- a 経口投与
- b 皮下注射
- c 筋肉内注射
- d 静脈内注射

▶薬理学

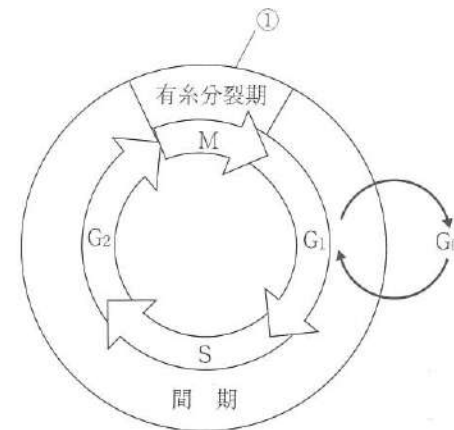
選択肢考察

- × a 経口投与は消化管を通過した後、周囲の毛細血管に吸収され、門脈を経て肝臓をってから循環血へ移行する。従って、投与時の血中濃度は0である
- × b 皮下投与は皮下組織に注射などで投与する方法である。皮下組織の周囲の毛細血管に吸収された後、循環血へ移行する。従って、投与時の血中濃度は0である。
- × c 筋肉内投与は、筋肉組織に注射などで投与する方法である。筋肉組織の周囲の毛細血管に吸収された後、循環血へ移行する。従って、投与時の血中濃度は0である。
- d 薬物の血中濃度変化の図をみると、投与時に血中濃度が最大となり、その後、減少している。従って、吸収過程がない投与方法であるとわかる。吸収過程がある場合、投与時は投与部位に薬物が存在し、血中には移行していないため、血中濃度は0から上昇し、最大となった後、時間とともに減少する。静脈内投与は静脈に注射などで投与する方法である。投与部位が血中であるため吸収過程はなく、投与時が最大血中濃度であり、その後、時間とともに肝臓で代謝、腎臓で排泄、脂肪組織に分布など、血中から消失するため血中濃度が減少していく。

正解 d

📖 要点集 341:P61

[問題 15] 細胞周期を図に示す。



①の時期に特異的に作用する抗悪性腫瘍薬はどれか。1つ選べ。

- a ニボルマブ
- b シスプラチン
- c セツキシマブ
- d ドセタキセル

▶薬理学

選択肢考察

- × a、× c ニボルマブやセツキシマブは分子標的薬に分類される抗悪性腫瘍薬である。従来の抗悪性腫瘍薬はがん細胞と正常細胞の区別なく作用していたが、分子標的薬はがん細胞に特有な特異的分子を標的に作用する。細胞周期の様々な段階で作用する。
- × b シスプラチンは白金製剤に分類される抗悪性腫瘍薬で、細胞周期非特異的に作用する。
- d ドセタキセルは微小管阻害薬に分類される抗悪性腫瘍薬で、M期に作用し細胞の有糸分裂を阻害する。

正解 d

📖 DH25:P114

[問題 16] 不快指数と感覚温度の要素で共通するのはどれか。2つ選べ。

- a 気温
- b 気湿
- c 気流
- d 輻射熱

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、○ b、× c 寒暖の感覚は温熱の4要素(気温・気湿・気流・輻射熱)に影響を受ける。不快指数は気温・気湿、感覚温度は気温・気湿・気流を要素とする温熱環境の指標である。
- × d 直射日光やストーブが放出する赤外線による熱を輻射熱という。暑さ指数が含む要素の1つである。

正解 a, b

DH25:P162

要点

●温熱の4要素と測定器具

気温(温度): 寒暖の感覚に最も影響する要素	Assmann 通風乾湿計、August 乾湿計*
気湿(湿度): 空気中の水蒸気量	
気流(風速): 気圧差で生じる空気の動き(風)	カタ温度計、風速計
輻射熱: 直射日光などが放出する赤外線による熱	黒球温度計、輻射計

\* August 乾湿計は測定場所の気流や輻射熱に影響を受ける。

●温熱の4要素と温熱環境の指標

温熱の4要素の組み合わせ	温熱環境の指標	特徴
気温・気湿	不快指数	蒸し暑さや冷房効果を評価する。
気温・気湿・気流	感覚温度	ある気温で湿度100%、無風時の感覚を基準とする。
気温・気湿・輻射熱	暑さ指数*	熱中症予防を目的とする。

\*暑さ指数は湿球黒球温度[wet bulb globe temperature(WBGT)]ともいう。

[問題 17] 成熟プラークで表層部と比較した深層部の特徴はどれか。1つ選べ。

- a pHが高い。
- b 緩衝能が高い。
- c 酸素分圧が低い。
- d 代謝産物が少ない。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a、× b、× d 深層部では緩衝能が低いため、著しいpHの低下がみられる。また、代謝産物の量は増加する。
- c 深部になるにつれ酸素分圧は低くなる。

正解 c

DH25:P82

[問題 18] 補助的清掃器具の写真(別冊午後 No. 2)を別に示す。

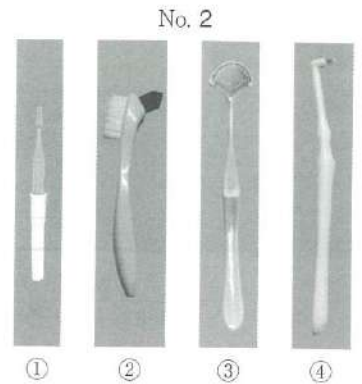
歯間隣接面にみられる根面溝の清掃に適しているのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a ①の歯間ブラシは歯間隣接面にみられる根面溝にも毛先を到達させることができる。
- × b ②は義歯ブラシで、義歯表面に付着したアンチャーブランクの除去に用いる。
- × c ③は舌ブラシで、舌苔の除去に用いる。
- × d ④はタフトブラシで、最後方臼歯遠心面や歯冠部、叢生部位、孤立歯、矯正装置の装着部、ポンティック基底部などの清掃に用いる。隣接面の根面溝には毛先の到達が困難である。



正解 a

DH25:P332

要点

根面溝は歯根面に生じる縦溝や陥凹であり、口腔内に露出するとプラークが停滞しやすい。様々な部位に発生するが、好発部位は  $\frac{4}{4}$  近心、 $\frac{2}{2}$  遠心、 $\frac{7}{6}$  近遠心、 $\frac{6}{7}$  近遠心である。



[問題 19] 特定健康診査の基本的健診項目に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 腹囲
- b 現在歯数
- c 空腹時血糖値
- d 胸部エックス線撮影

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、c 特定健康診査は、高齢者の医療の確保に関する法律(高齢者医療確保法)に定められた、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健康診査である。公的医療保険の保険者が40歳~74歳までの被保険者に対して、以下の項目を実施する。

正解 a, c

DH25:P723

[問題 20] 歯周病患者 100 名と歯周病のない 100 名からなる集団に、感度 0.60、特異度 0.80 の歯周病をスクリーニングする検査を行った。

この検査の陽性反応的中度はどれか。1つ選べ。

- a 0.20
- b 0.40
- c 0.67
- d 0.75

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

○ d

		歯周病		合計
		あり	なし	
検査結果	陽性	a	b	a + b
	陰性	c	d	c + d
合計		100	100	200

感度 =  $\frac{\text{真陽性 (a)}}{\text{真陽性 (a) + 偽陰性 (c)}} = \frac{a}{100} = 0.60 \therefore a = 60, c = 100 - 60 = 40$

特異度 =  $\frac{\text{真陰性 (d)}}{\text{偽陽性 (b) + 真陰性 (d)}} = \frac{d}{100} = 0.80 \therefore d = 80, b = 100 - 80 = 20$

陽性反応的中度 =  $\frac{\text{真陽性 (a)}}{\text{真陽性 (a) + 偽陽性 (b)}} = \frac{60}{60 + 20} = 0.75$

正解 d

DH25:P237

[問題 21] 市町村が要介護・要支援の二次判定を行うのはどれか。1つ選べ。

- a 地域ケア会議
- b 介護認定審査会
- c 社会福祉協議会
- d 社会保障審議会

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 地域ケア会議は高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を同時に進めていく地域包括ケアシステムの実現に向けた施策として開催されている。
- b 介護認定審査会とは、市町村の附属機関として設置される。要介護認定(要支援認定を含む)は、介護の必要量を全国一律の基準に基づき、客観的に判定する仕組みであり、一次判定及び二次判定の結果に基づき、市町村が申請者について要介護認定を行う。まず、一次判定として市町村の認定調査員による心身の状況調査(認定調査)及び主治医意見書に基づくコンピュータ判定を行う。その後、二次判定として保健・医療・福祉の学識経験者により構成される介護認定審査会により、一次判定結果、主治医意見書等に基づき審査判定を行う。
- × c 社会福祉協議会とは、社会福祉法に基づき各市区町村に設置される民間の非営利団体である。地域福祉の推進を目的に、住民や地域団体を会員として成立している。
- × d 社会保障審議会は、厚生労働省の諮問機関としての役割を担い、年金問題をはじめとした社会保障制度や人口問題などについて、審議会にて調査・審議が行われている。

正解 b

DH25:P203

[問題 22] 菌体外多糖類を合成する *Streptococcus mutans* の酵素はどれか。1つ選べ。

- a アミラーゼ
- b トリプシン
- c ペルオキシダーゼ
- d グルコシルトランスフェラーゼ

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

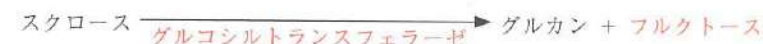
- × a アミラーゼは、唾液腺や膵臓から分泌されるデンプンの消化酵素である。
- × b トリプシンは膵臓から分泌されるタンパク分解酵素である。
- × c ペルオキシダーゼは過酸化水素を分解する酵素である。
- d *Streptococcus mutans* はグルコシルトランスフェラーゼを産生することで、スクロースから不溶性グルカンを合成する。

正解 d

要点集 341:P35

要点

菌体外多糖類の1つにグルカンがある。グルカンはスクロースを基質として、グルコシルトランスフェラーゼの作用によって生成される。



[問題 23] 1歳6か月児歯科健康診査で第二次予防に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 集団保健指導
- b 哺乳状況の問診
- c う蝕の有無の診査
- d 間食についての問診

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

- × a 集団を対象とした保健指導は保健行動への行動変容を促すことになり、疾病の発生を未然に防ぐことにつながるため、第一次予防(健康増進)である。
- × b 1歳6か月児で哺乳をしていると、う蝕のリスクが高くなる。リスク要因を把握したうえで保健指導を行うと効果的であるため、第一次予防(健康増進)である。
- c う蝕の有無の診査は早期発見の目的で行われるため、第二次予防である。
- × d 間食などのリスク要因を把握したうえで保健指導を行うと、疾病の発生を未然に防ぐことにつながるため、第一次予防(健康増進)である。

正解 c

DH25:P153

[問題 24] 口臭の原因を明らかにするために、口臭測定に加えて測定するのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液分泌量
- b 唾液緩衝能
- c プラーク中の pH
- d プロービングデプス

▶ 口腔衛生学

## 選択肢考察

- a 唾液分泌量の低下は唾液による自浄作用が低下するため、口臭発生の原因となる。
- × b 唾液緩衝能はう蝕発生リスクの評価に必要である。口臭の原因とは直接関連しない。
- × c プラーク中の pH はエナメル質の脱灰に影響するが、口臭の原因とは直接関連しない。
- d 歯周病原性細菌により産生される揮発性硫黄化合物 (VSC) は病的口臭の原因物質である。

正解 a, d

DH 25:P 485

## 要点

口臭は生理的口臭と病的口臭に分けられ、生理的口臭は起床時や空腹時、月経時に起こる口臭である。病的口臭は口腔由来の口臭と全身疾患によるものがあり、精査が必要となる。口腔に由来する口臭の発生源には、舌苔、プラーク、う蝕、歯周病、義歯清掃不良などがある。

[問題 25] 予防接種法に基づいて0歳児に定期接種されるワクチンはどれか。1つ選べ。

- a 黄熱
- b 狂犬病
- c B型肝炎
- d 带状疱疹

▶ 衛生学・公衆衛生学

## 選択肢考察

- × a、× b 黄熱ワクチン、狂犬病ワクチンは任意接種である。この内、黄熱ワクチンは検疫所でのみ実施されている。
- c B型肝炎ワクチンは1歳に至るまでの間にある者を対象とした定期接種が実施されている。
- × d 水痘ワクチンは生後12月から生後36月に至るまでの間にある者を対象に定期接種が実施されているが、带状疱疹に対しては、不活化ワクチンを用いたものは18歳以上、水痘生ワクチンを用いたものは50歳以上を対象にした任意接種である。

◎ 定期接種で予防できる疾患



正解 c

DH 25:P 165

[問題 26] 児童生徒健康診断票でCOと記載するのはどれか。1つ選べ。

- a 要観察歯
- b 要注意乳歯
- c う歯(処置歯)
- d う歯(未処置歯)

▶ 口腔衛生学

## 選択肢考察

- a 要観察歯はCO、要注意乳歯は×、う歯(処置歯)は○、う歯(未処置歯)はCと記載する。学校保健安全法に基づき実施する学校歯科健康診断において、児童生徒健康診断票は義務教育の9年間を通して使用する。

正解 a

DH 25:P 154

[問題 27] 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の7つの柱に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 認知症の専門医の養成
- b 若年性認知症施策の強化
- c 認知症治療への経済的支援
- d 認知症の人の介護者への支援

▶ 衛生学・公衆衛生学

## 選択肢考察

- b、d 高齢者の増加に伴い、認知症への対策も急務となっている現在、その指針となる戦略が厚生労働省の認知症施策「新オレンジプラン」である。「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らしを続けることができる社会を実現する」ことを目的に、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて策定された。正式には認知症施策推進総合戦略という。

正解 b, d

DH 25:P 202

[問題 28] 3歳0か月児のう蝕好発部位はどれか。1つ選べ。

- a 下顎乳前歯隣接面
- b 上顎乳前歯唇側面
- c 上下顎乳白歯咬合面
- d 上下顎乳白歯隣接面

▶ 口腔衛生学

## 選択肢考察

- c ◎ 年齢別・歯面別の乳歯う蝕好発部位

年齢	部位と歯面
～2歳	上顎乳切歯の唇側面
2歳～3歳	上顎乳切歯の隣接面
3歳～	上下顎乳白歯の咬合面
3歳6か月～	上下顎乳白歯の隣接面

正解 c

要点集 342:P 48

[問題 29] O'Leary の PCR について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 代表歯を評価する。
- b 分母は歯数とする。
- c 歯垢染め出し液を用いる。
- d 歯頸部のプラークを評価する。

▶ 口腔衛生学

## 選択肢考察

- × a O'Leary の PCR は臨床現場で多用する口腔清掃状態の指標である。第三大臼歯を含むすべての歯を評価する。
- × b 分母は被検歯面数である。
- c、○ d 染め出し液を用いて歯頸部のプラーク付着の有無を評価する。

正解 c、d

[問題 30] ある中学校 1 年生 (30 名) の学校歯科健康診断の結果を表に示す。

	総数
現在歯数	780
未処置歯数	6
処置歯数	28
喪失歯数	2
要観察歯数	24

DMFT 指数はどれか。1つ選べ。

- a 0.05
- b 1.2
- c 2.0
- d 6.0

▶ 口腔衛生学

## 選択肢考察

- b DMFT 指数は次の式で求められる。DMFT 指数 =  $\frac{\text{被検者の DMF 歯数の合計}}{\text{被検者数}}$   
DMFT 指数 =  $(6+28+2)/30 = 1.2$

正解 b

DH25:P148

[問題 31] 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 (医薬品医療機器等法、薬機法) における分類で、歯科用インプラントが該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 医薬部外品
- b 一般医療機器
- c 管理医療機器
- d 高度管理医療機器

▶ 歯科衛生士概論

## 選択肢考察

- × a 医薬部外品とは薬機法で定められた医薬品や化粧品には当たらない品で、人体に対する作用が緩和で機械器具でないものを指す。
- × b 一般医療機器にはエックス線フィルムなど、人体へのリスクが低いものが該当する。
- × c 管理医療機器には歯科用金属材料など、生体組織と接触するものが該当する。
- d 高度管理医療機器には歯科用インプラントなど、侵襲性の高いものが該当する。

正解 d

[問題 32] 歯科衛生士の義務として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 秘密保持
- b パターナリズムの実践
- c 2 年間の業務記録の保管
- d 2 年ごとの業務従事者届の提出

▶ 歯科衛生士概論

## 選択肢考察

- a 歯科衛生士の義務は、主として歯科衛生士法によって規定されている。業務上知り得た人の秘密を正当な理由なく漏らすことを禁じ、罰則も設けている。
- × b パターナリズムとは、強い立場にある者が、弱い立場にある者の利益になるようにと、本人の意志に反して行動に介入・干渉することをいう。歯科衛生士の義務ではない。
- × c 歯科衛生士が歯科衛生士としての業務を行った場合には、その記録 (業務記録) を作成するとともに、これを 3 年間保存することが規定されている。
- d 業務に従事する歯科衛生士は、2 年毎に 12 月 31 日現在の氏名、住所、年齢、業務従事先の所在地・名称などを、翌年の 1 月 15 日までに就業地の都道府県知事 (直接の届出先は所轄の保健所長) に届け出ることが義務づけられている。

正解 a、d

DH25:P184

[問題 33] フリーラジカルの発生を利用した滅菌法はどれか。1つ選べ。

- a 濾過滅菌
- b ガス滅菌
- c 放射線滅菌
- d 低温プラズマ滅菌

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 濾過滅菌は液体や気体を、細菌の芽胞より小さな孔径のフィルターを通過させるとして、対象物から細菌を除去する方法である。
- × b ガス滅菌はエチレンオキシドガス (EOG) やホルムアルデヒドガスを用いることで、細菌の芽胞を不活性化させる滅菌法である。
- × c 放射線滅菌はガンマ線などの放射線を照射することで、微生物を不活性化させる滅菌法である。
- d 低温プラズマ滅菌法は、過酸化水素水に高周波エネルギーを与えることでフリーラジカルを発生させ、細菌内の核酸や脂質を破壊し滅菌効果を示す。

正解 d

DH 25:P792

[問題 34] ポリソムノグラフィで診断できるのはどれか。1つ選べ。

- a サルコペニア
- b 口腔機能低下症
- c 慢性閉塞性肺疾患
- d 閉塞性睡眠時無呼吸

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a サルコペニアの疑いがある場合は、まずスクリーニング検査 (SARC-F、下腿周囲長の計測) を行い、陽性であれば握力測定および5回椅子立ち上がりテストを実施する。確定診断には歩行速度、バランステスト、骨格筋量測定を追加し判断する。
- × b 7つの下位症状 (口腔衛生状態不良、口腔乾燥、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下、舌口唇運動機能低下、咬合力低下) のうち、3項目以上該当する場合に口腔機能低下症と診断する。
- × c 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) はスパイロメトリーなどで診断する。
- d 閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) は睡眠時無呼吸症候群 (SAS) と同義で、ポリソムノグラフィ (PSG、睡眠ポリグラフ検査) で診断する。PSGでは脳波、エアフローセンサー、パルスオキシメータなど多種のセンサーを利用して無呼吸や低呼吸の生じる回数、睡眠の質などを評価する。

正解 d

DH 25:P896

[問題 35] 咀嚼機能の直接的検査法はどれか。2つ選べ。

- a 篩分法
- b 咬合力検査
- c 下顎運動検査
- d グルコース溶出量測定

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- a 篩分法は咀嚼試料を咀嚼し粉砕された咀嚼試料の粒子を、各種の篩で粉砕度に応じ篩分けをすることにより、咀嚼効率を測定する方法である。直接的検査法に分類される。
- × b 咬合力検査は咬合力により咀嚼能力を評価する方法である。間接的検査法に分類される。
- × c 下顎運動検査は咀嚼試料を咀嚼したときの切歯点運動を測定し、運動経路、運動のリズム、運動速度などを分析し咀嚼能力を評価および判定を行う方法である。間接的検査法に分類される。
- d グルコース溶出量測定は主にグミゼリーなどの咀嚼試料を一定時間咀嚼した際に、唾液中に溶出したグルコース量を測定するものである。直接的検査法に分類される。

正解 a, d

DH 25:P546

[問題 36] IV型アレルギーの検査方法はどれか。1つ選べ。

- a パッチテスト
- b サクソントテスト
- c ブリックテスト
- d スクラッチテスト

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- a パッチテストは金属アレルギーなどの遅延型アレルギー (IV型アレルギー) のアレルゲンを同定するための検査である。健常皮膚に原因と疑われる物質を貼付し2日後、3日後、7日後など複数回反応をみる。
- × b サクソントテストはガーゼなどを2分間咀嚼し、分泌された唾液の量を測定する検査である。
- × c、× d ブリックテスト、スクラッチテストは即時型アレルギー (I型アレルギー) のアレルゲンを同定するための検査である。

正解 a

DH 25:P81

【問題 37】 38歳の女性。上顎左側白歯部の歯肉からの排膿を主訴として来院した。2週間前から同部の腫脹と疼痛を認めていたが放置していたという。頬側歯肉部に瘻孔がみられ、上顎左側第二小臼歯と第一大臼歯に打診痛を認めた。エックス線写真撮影直前の口腔内写真(別冊午後 No. 3)を別に示す。

この検査の目的はどれか。1つ選べ。

- a 根管長の測定
- b 原因歯の特定
- c 歯根破折の診断
- d 歯髄の生死の判定

#### 選択肢考察

- × a 根管長は電気的根管長測定器による測定やエックス線撮影で確認する。
- b 歯肉にみられる瘻孔は根尖性歯周炎が原因となる。根尖性歯周炎の原因歯の特定は打診などによって行うが、打診痛が数歯にわたる場合には瘻孔へガッタパーチャポイントを挿入し、エックス線撮影を行うことで原因歯を特定できる。ガッタパーチャポイントはエックス線不透過性であり、瘻孔へ挿入後エックス線撮影を行うと、原因歯と排膿路を確認することができる。
- × c 歯根破折の診断はエックス線画像にて行う。
- × d 歯髄の生死の判定は温度診や歯髄電気診にて行う。

正解 b

▶臨床歯科総論  
No. 3



DH 25:P 304

【問題 38】 66歳の男性。下顎左側第一大臼歯の修復物脱離を主訴として来院した。2日前に食事に脱離したという。歯髄電気診で生活反応を示した。診察の結果、メタルインレー修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 4)を別に示す。

コンポジットレジンによる直接修復と比較した利点はどれか。2つ選べ。

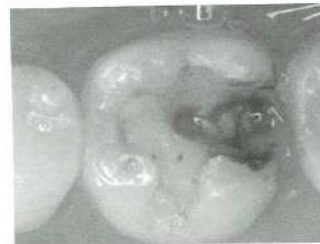
- a 機械的強度が高い。
- b 来院回数が少ない。
- c 接触点の回復に適する。
- d 健全歯質の削除量が少ない。

#### 選択肢考察

- a メタルインレーはコンポジットレジンによる直接修復に比べて機械的強度が高い。
- × b メタルインレー修復は間接修復であり、窩洞形成後の印象採得や技工操作を必要とするため、直接修復に比べて来院回数は増える。
- c 作業用模型上で修復物を製作するため、接触点の回復は直接修復に比べて容易である。
- × d 健全歯質の削除量は直接修復に比べて多くなる。

正解 a, c

▶保存修復学  
No. 4



DH 25:P 294

【問題 39】 急性化膿性根尖性歯周炎の骨内期にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 瘻孔
- b 顔面腫脹
- c 羊皮紙様感
- d 温熱刺激による疼痛増大

▶歯内療法学

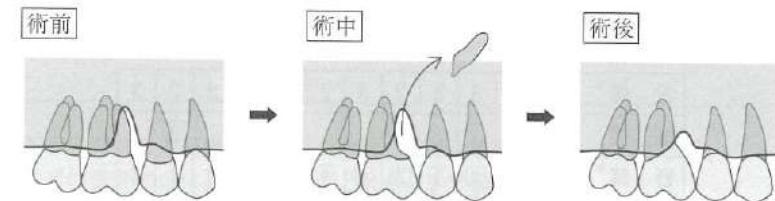
#### 選択肢考察

- × a 瘻孔は慢性化膿性根尖性歯周炎で見られることがある。
- × b、○ d 急性化膿性根尖性歯周炎は経過により歯根膜期、骨内期、骨膜下期、粘膜下期に分類される。骨内期では温熱刺激により痛みが増大し、寒冷により痛みが緩解する。顔面腫脹は骨膜下期、粘膜下期でみられる。
- × c 羊皮紙様感は歯根嚢胞で見られることがある。嚢胞が大きくなり、皮質骨が非薄化すると触診でペコペコという羊皮紙様感を触知できる。

正解 d

要点集 342:P 4

【問題 40】 外科的歯内療法の図を示す。



この術式はどれか。1つ選べ。

- a ヘミセクション
- b トライセクション
- c ルートセパレーション
- d ルートアンブレーション

▶歯内療法学

#### 選択肢考察

- × a ヘミセクションは下顎大白歯に適用され、下顎大白歯の1根に大きな病変があり保存不可能な場合、その根を歯冠部と共に除去し、他の1根を保存する方法である。
- × b トライセクションは上顎大白歯に適用され、上顎大白歯の1根に大きな病変があり保存不可能な場合、その根を歯冠部と共に除去し、他の2根を保存する方法である。
- × c ルートセパレーション(歯根分離法)は、下顎大白歯で大きな根分岐部病変があり、種々の治療によっても治療効果がみられない場合に、近心根と遠心根を分離して歯を保存する方法である。
- d ルートアンブレーション(歯根切断法)は、上顎大白歯などの複数根がある歯で、1根に大きな根尖病変がある場合などに、当該根のみを歯頸部で切断・除去する方法である。

正解 d

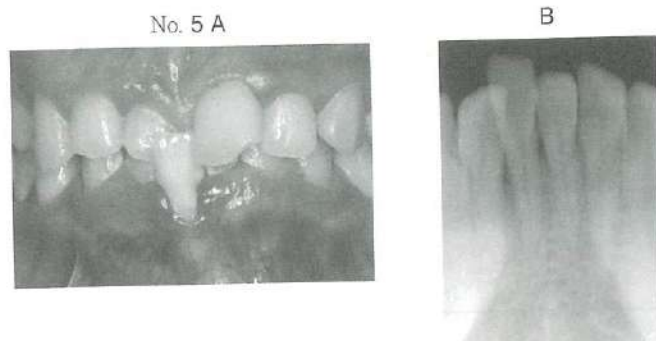
DH 25:P 359

〔問題 41〕 24歳の女性。下顎右側中切歯の動揺を主訴として来院した。咬頭嵌合位でⅠにフレミタスがみられた。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 5 A)、エックス線画像(別冊午後 No. 5 B)および歯周組織検査結果の一部(別冊午後 No. 6)を別に示す。

まず行おうと考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 根面被覆
- b 矯正歯科治療
- c 口腔清掃指導
- d スケーリング

▶歯周治療学



No. 6

舌側*	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	3
歯種	2			1			1			2		
唇側*	2	2	③	③	②	④	③	2	2	2	1	2
動揺度**	0			1			0			0		

\* :プロービング深さ(mm)  
○印:プロービング時の出血  
\*\* :Millerの判定基準

選択肢考察

- × a 根面被覆は歯周基本治療後の再評価検査の後、歯周形成手術で行う。
- × b 限局的な矯正治療は、歯周基本治療で歯周組織の炎症の除去後に行う。
- c、○ d Ⅰは咬頭嵌合位でフレミタスが認められ、動揺度1度であることから咬合性外傷が生じている。また、プロービング時の出血、歯周ポケットの形成、歯槽骨吸収がみられることから、まずは歯周基本治療として炎症の除去を優先する。口腔清掃指導を行い、歯周組織の炎症の原因であるプラークの除去を行う。プラークリテンションファクターである歯石を除去し、歯周組織の炎症を軽減させる。その後に咬合性外傷を除去のため咬合調整などの治療を行う。

正解 c、d

DH25:P348

〔問題 42〕 50歳の男性。下顎右側中切歯の自発痛と歯肉の腫脹を主訴として来院した。Ⅰ唇側遠心部のプロービング深さは5mmであり、LDDSを行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 7)を別に示す。

用いた薬剤の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 急性期も使用可能である。
- b 細胞壁合成阻害薬である。
- c 歯周組織再生作用を有する。
- d タンパク質合成阻害薬である。

▶歯周治療学

選択肢考察

- a、× c、○ d LDDS(局所薬物配送システム)は本症例のように自発痛のある急性期にも適応可能である。歯周ポケットを洗浄後、ミノサイクリン塩酸塩などのテトラサイクリン系抗菌薬を歯周ポケット内に注入する。テトラサイクリン系抗菌薬はタンパク質合成阻害薬に該当するが、歯周組織再生作用はもたない。
- × b 細胞壁合成阻害薬にはペニシリン系やセフェム系などのβ-ラクタム系抗菌薬が該当する。

No. 7



正解 a、d

DH25:P107

〔問題 43〕 下顎右側第一大臼歯のエックス線画像(別冊午後 No. 8)を別に示す。

近心根根尖部の根管形成に適した器具はどれか。2つ選べ。

- a Kファイル
- b ピーソーリーマー
- c ゲーツグリデンドリル
- d ニッケルチタンロータリーファイル

▶歯内療法学

選択肢考察

- a 6の近心根は透過像に囲まれ、根尖部の根管には彎曲がみられる。Kファイルはステンレススチール線をねじって製作した、適応用途が広い手用根管切削器具である。フレカーブを付与しステップバック形成法を行うことで、彎曲根管の直線化を防止する。
- × b、× c ピーソーリーマー、ゲーツグリデンドリルは主に根管口部の漏斗状拡大(フレアー形成)に用いる回転切削器具である。
- d ニッケルチタンロータリーファイルは超弾性や形状記憶効果が高く、根管追従性に優れた回転切削器具で、彎曲根管の拡大・形成に有効である。

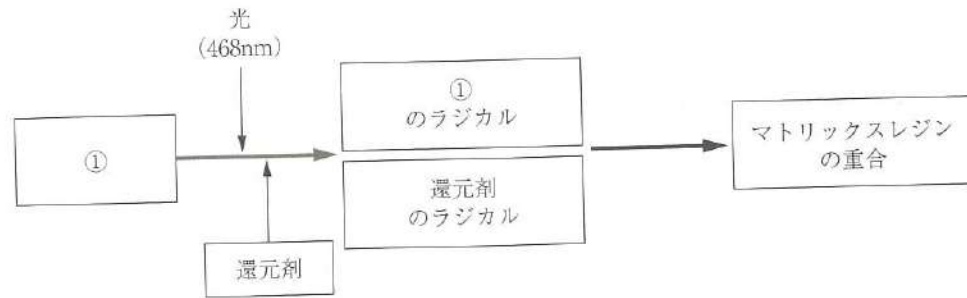
No. 8



正解 a、d

DH25:P312

〔問題 44〕 光重合型コンポジットレジンへの光照射による重合機序を模式図に示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a シリカ
- b ジルコニア
- c 過酸化ベンゾイル
- d カンファーキノン

▶保存修復学

#### 選択肢考察

- × a コンポジットレジンにはシリカを主成分とするガラス粉末がフィラーとして含有されている。
- × b ジルコニアはCAD/CAM法で成形されるセラミックスである。クラウン、ブリッジ、ブラケット、アバットメントなどの製作に広範囲に使用される。
- × c 過酸化ベンゾイルは化学重合型コンポジットレジンにおける重合開始剤である。
- d 光重合型コンポジットレジンには光増感剤であるカンファーキノンと、反応を促進させる還元剤が含まれている。波長が468nmの可視光線(青い光)を照射するとカンファーキノンと還元剤が活性化してラジカルが発生し、マトリックスレジンの重合反応が起こる。

正解 d

📖 要点集 342:P12

〔問題 45〕 72歳の女性。下顎の義歯がはずれやすいことを主訴として来院した。下顎の部分床義歯を新製することになった。研究用模型製作の印象採得時に行った処置前後の写真(別冊午後 No. 9)を別に示す。

この処置の目的はどれか。2つ選べ。

- a 印象体の変形を防止する。
- b 印象体の撤去を容易にする。
- c 動揺歯の固定を確実にする。
- d 既製トレーの使用が可能となる。

▶歯科補綴学

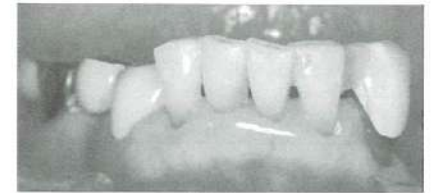
#### 選択肢考察

- a、○ b 写真の処置は下顎前歯部の鼓形空隙をユーティリティーワックスでブロックアウトしている。鼓形空隙など大きなアンダーカットがあると、撤去時に印象体の変形する。印象採得に先立ち、ユーティリティーワックスや寒天印象材で口腔内のアンダーカットをブロックアウトすることで、印象体の変形を防止し撤去も容易になる。
- × c ブロックアウトの目的は動揺歯の固定ではない。ユーティリティーワックスで動揺歯の確実な固定はできない。
- × d ブロックアウトを行うか否かによらず、既製トレーは使用可能である。

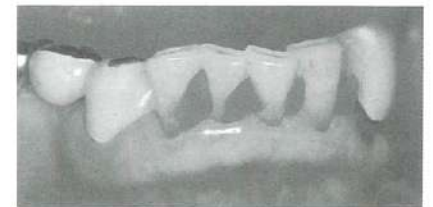
正解 a、b

📖 DH25:P379

No. 9

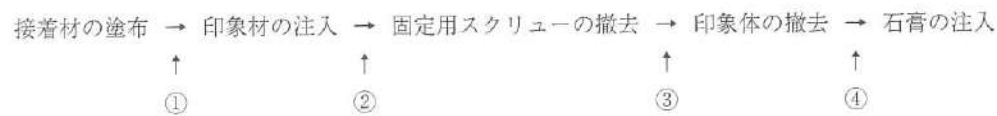


処置前



処置後

〔問題 46〕 64歳の男性。上顎右側第一小臼歯の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、インプラントによる補綴歯科治療を行うことになった。上部構造の精密印象採得の手順を以下に示す。インプラント体に印象用コーピングを連結した際の口腔内写真(別冊午後 No.10 A)と試適後の個人トレー(別冊午後 No.10 B)を別に示す。



印象用コーピングにインプラントアナログを連結する時期はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- d 写真Bはオープントレー法で用いる穴の開いた個人トレーである。オープントレー法による精密印象採得の基本的な手順は以下の通りで、印象用コーピングへのインプラントアナログの連結は④の段階で行う。
  - (1) 口腔内のインプラント体からヒーリングアパットメントを撤去
  - (2) 口腔内のインプラント体に印象用コーピングを固定用スクリューで連結(写真A)
  - (3) 個人トレーの試適
  - (4) 個人トレー内面への接着材の塗布
  - (5) 個人トレー内面への印象材の注入
  - (6) 個人トレーによる精密印象採得
  - (7) 固定用スクリューの撤去
  - (8) 印象体を口腔外へ撤去
  - (9) 口腔内のインプラント体にヒーリングアパットメントを再装着
  - (10) 印象体に取り込まれた印象用コーピングにインプラントアナログを連結
  - (11) 印象体への石膏の注入

No. 10 A



B



DH 25:P 405

正解 d

〔問題 47〕 部分床義歯の支台装置の写真(別冊午後 No.11 A、B、C)を別に示す。この支台装置はどれか。1つ選べ。

- a RPI クラスプ
- b エーカースクラスプ
- c コンビネーションクラスプ
- d ダブルエーカースクラスプ

▶ 歯科補綴学

No. 11 A



B



C



選択肢考察

- b 写真の装置は鑄造で製作したエーカースクラスプ(レスト付き二腕鉤)である。咬合面レストと頬舌側の鉤腕(アーム)により、強固な支持・把持・維持を具備している。

正解 b

DH 25:P 389

要点

● クラスプの種類

名称	特徴
エーカースクラスプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レスト付き二腕鉤ともいう。</li> <li>• 使用頻度が最も高い。</li> </ul>
ダブルエーカースクラスプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 双子鉤ともいう。</li> <li>• 強固な安定が得られる。</li> </ul>
リングクラスプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 傾斜・孤立した最後方臼歯に応用。</li> </ul>
RPI クラスプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 近心レスト(R)・隣接面板(P)・Iバー(I)から構成される。</li> <li>• 歯頸部からIバー先端が支台歯のアンダーカット域に入る。</li> </ul>
コンビネーションクラスプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 把持腕とレストを鑄造で製作し、維持腕を線鉤にて製作するもの。</li> </ul>

**[問題 48]** 72歳の女性。歯の欠損による咀嚼障害を主訴として来院した。上下顎に全部床義歯を製作することになった。上顎ろう義歯を試適した際の顔貌写真(別冊午後 No.12 A)と中心咬合位でろう義歯を静かに咬合させた時の顔貌写真(別冊午後 No.12 B)を別に示す。患者は中心咬合位での歯の見え具合に不満を訴えたが、口唇を閉鎖した際の顔貌には不満を訴えなかった。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 仮想咬合平面の決定
- b 垂直的顎間関係の決定
- c 水平的顎間関係の決定
- d 上顎ろう堤によるリップサポートの付与

▶ 歯科補綴学

**選択肢考察**

- a ろう義歯試適時の確認事項と、不備に対する問題である。この問題では、口唇閉鎖時の顔貌には問題はなく、前歯部の見え方に問題がある。義歯製作の手順の中で、咬合採得時の①上顎ろう堤リップサポートの付与(選択肢 d)、②垂直的顎間関係の決定(選択肢 b)、水平的顎間関係の決定(選択肢 c)に問題はなかった。顔貌写真 B において、ろう義歯の咬合平面が傾斜しており、患者の不満の原因は仮想咬合平面の決定にあると考える。

**正解 a**

DH25:P381

No.12 A



B



**[問題 49]** 神経障害性疼痛に分類されるのはどれか。2つ選べ。

- a 唾疝痛
- b 三叉神経痛
- c ドライソケット
- d 帯状疱疹後神経痛

▶ 口腔外科学

**選択肢考察**

- × a 唾疝痛(食事摂取時の疼痛)は唾石症の特徴である。従って、神経障害性疼痛には分類されない。
- b、○ d 三叉神経痛、帯状疱疹後神経痛はそれぞれ神経自体の障害により起こる疼痛であるため、神経障害性疼痛に分類される。
- × c 抜去後のドライソケットは血管収縮薬含有局所麻酔薬の多量使用が主な原因で、局所の貧血から血餅形成不全となり、持続性疼痛を認める。従って、神経障害性疼痛には分類されない。

**正解 b、d**

DH25:P428

**要点**

神経障害性疼痛は末梢神経または中枢神経自体の障害によって生じる痛みで、ニューロパチックペインともいう。三叉神経痛や舌咽神経痛、帯状疱疹後神経痛、外傷性神経障害性疼痛(ニューロパチー)、非定型顔面痛などがある。

**[問題 50]** 水疱を主徴とするのはどれか。1つ選べ。

- a 紅板症
- b 類天疱瘡
- c 口腔カンジダ症
- d 肉芽腫性口唇炎

▶ 口腔外科学

**選択肢考察**

- × a 紅板症は口腔粘膜に発赤したピロード状の紅斑として生じる。
- b 類天疱瘡は上皮基底膜部に対する自己抗体に起因し、上皮下水疱の形成を特徴とする疾患である。
- × c 口腔カンジダ症はカンジダ属(主に *Candida albicans*)による日和見感染として発症する。偽膜性カンジダ症は灰白色あるいは乳白色の点状、線状あるいは斑紋状の白苔が粘膜表面に付着しており、白苔はぬぐうと剝離可能である。萎縮性あるいは紅斑性カンジダ症は舌乳頭の萎縮や粘膜の紅斑を特徴とし、慢性肥厚性カンジダ症は不規則な厚さの白板症様の病態を特徴とし、当該部位は剝離できない。
- × d 肉芽腫性口唇炎は口唇の無痛性、びまん性腫脹を特徴とする。

**正解 b**

DH25:P346

**要点**

水疱は漿液性内容物を含む限局性半球状隆起で、直径5mm以下のものを小水疱、5mm以上のものを水疱という。上皮内あるいは上皮下に水疱形成するものに分けられ、前者には天疱瘡が、後者には類天疱瘡がある。また、ウイルス感染症では口腔粘膜に小水疱を形成するものが多い。

**[問題 51]** 79歳の女性。舌の違和感を主訴として来院した。粘膜痛があり食事や会話にも困難をきたしており、眼の乾燥もあるという。全身的既往歴に特記事項はない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.13)を別に示す。

この病変と関連すると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 骨粗鬆症
- b エプーリス
- c 口腔乾燥症
- d エナメル上皮腫

▶ 口腔外科学

**選択肢考察**

- × a 年齢から骨密度の低下や骨粗鬆症は考えられるが、舌の違和感とは直接関連しない。
- × b エプーリスは歯肉に限局して発生した良性的腫瘍状増殖物である。
- c 口腔乾燥により舌炎や口腔粘膜炎をきたしていると考えられ、眼の乾燥(ドライアイ)もみられることから、シェーグレン症候群が疑われる。シェーグレン症候群は、唾液腺や涙腺などの外分泌線が特異的に障害される原因不明の自己免疫疾患で、50歳以降の女性に好発する。
- × d エナメル上皮腫は顎骨に発生し、無痛性で緩慢に発育する。

**正解 c**

DH25:P430

No.13



【問題 52】 側貌の模式図(別冊午後 No.14)を別に示す。  
上下口唇の突出度の評価に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

選択肢考察

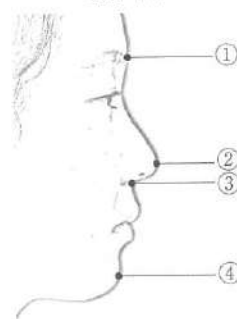
- × a、× c ①の gl(眉間点)は前額部の基準点、③の sn(鼻下点)は中顔面部の基準点であり、側貌型の評価に用いる。側貌型は前額部とオトガイ部を結んだ線と中顔面部の前後的位置関係から評価を行う。  
○ b、○ d ②の鼻尖と④のオトガイ部に接する線をEライン(エスティックライン)といい、上下口唇の突出度の評価に用いる。

正解 b、d

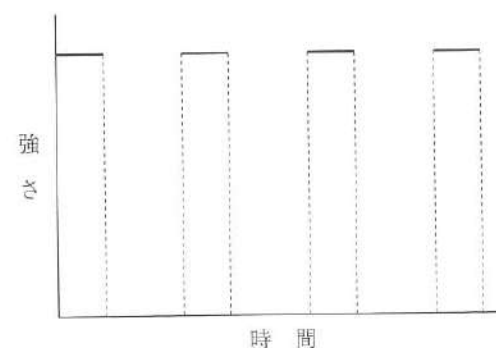
DH25:P449

▶矯正歯科学

No. 14



【問題 53】 矯正力の強さと作用時間の関係を図に示す。



この力を発揮するのはどれか。2つ選べ。

- a ヘッドギア  
b 急速拡大装置  
c 舌側弧線装置  
d アクチバートル

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a、○ d 図は間欠的な力を示す。装置が装着されている間だけ働く矯正力で、その他の時間には作用しない力である。アクチバートル、ヘッドギア、咬合斜面板などが発揮する。  
× b 急速拡大装置は断続的な力を発揮する。断続的な力は次回調節するまでに矯正力が減衰するものである。  
× c 舌側弧線装置やマルチブラケット装置、コイルスプリングなどは持続的な力を発揮する。持続的な力は次回調節するまで矯正力が保持されるものである。

正解 a、d

DH25:P455

【問題 54】 矯正歯科治療中の口腔内写真(別冊午後 No.15)を別に示す。  
この装置の補助弾線の矯正力により生じる歯の移動様式はどれか。1つ選べ。

- a 圧下  
b 挺出  
c 傾斜移動  
d 歯体移動

選択肢考察

- × a 歯が歯槽内に押し込まれる移動を圧下といい、歯根膜は圧縮される。  
× b 歯が歯槽内から出てくる移動を挺出といい、歯根膜は牽引される。  
○ c 写真はリングルアーチとトランスバタタルアーチが組み合わさった装置であり、補助弾線により②の唇側移動が行われている。補助弾線による歯の移動様式は傾斜移動で、歯根側1/3を回転中心として歯の移動が起こる。  
× d 歯全体が平行に移動することを歯体移動といい、移動方向の歯根膜は圧迫され、移動方向と反対側の歯根膜は牽引される。

正解 c

▶矯正歯科学

No. 15



要点集 342:P38

【問題 55】 矯正装置の写真(別冊午後 No.16)を別に示す。  
この装置の使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 前歯部開咬の改善  
b 上顎骨の前方成長促進  
c 上顎骨の前方成長抑制  
d 上顎歯槽基底部の側方拡大

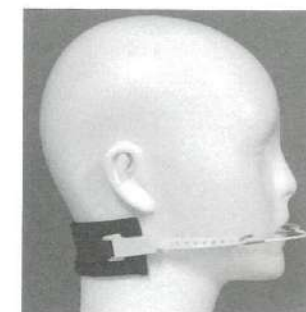
選択肢考察

- × a 前歯部開咬は舌突出癖、吸唇癖、口呼吸などの口腔習癖が関係する。従って前歯部開咬の改善には口腔習癖の除去や、口腔筋機能療法(MFT: oral myofunctional therapy)を行う。  
× b 上顎骨の前方成長促進を目的とする装置は上顎前方牽引装置である。  
○ c 写真は頸部を固定源とするネックストラップタイプのヘッドギアである。ヘッドギアは上顎骨の発育抑制を目的とする装置である。  
× d 上顎歯槽基底部の側方拡大を目的とする装置は急速拡大装置である。

正解 c

▶矯正歯科学

No. 16



DH25:P459

【問題 56】 口腔内写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

Hellman の歯齢はどれか。1つ選べ。

- a III A 期
- b III B 期
- c III C 期
- d IV A 期

選択肢考察

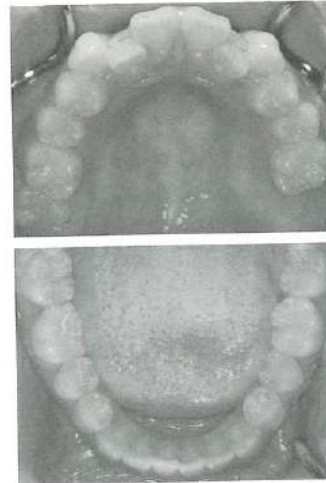
- × a、× d Hellman の歯齢は最後方白歯の状態が萌出完了(A: attain)か、萌出開始(C: commence)かに着目する。萌出途上であればCと評価する。III A 期は第一大臼歯萌出完了期、IV A 期は第二大臼歯萌出完了期である。
- × b III B 期は側方歯群交換期である。B: between は attain と commence の間の時期を意味する。
- c 口腔内写真は最後方白歯の第二大臼歯が萌出途上のため、III C 期である。

正解 c

📖 要点集 342:P46

▶小児歯科学

No. 17



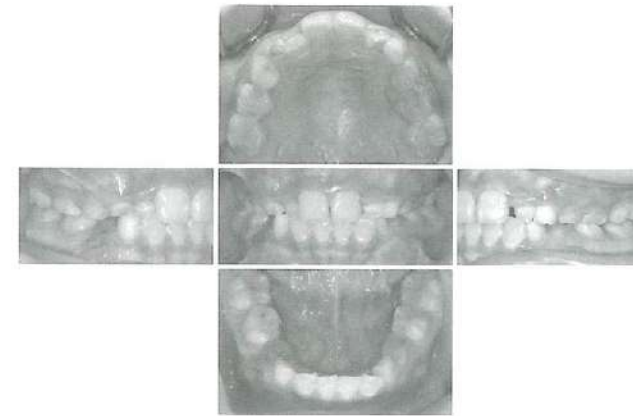
【問題 57】 10歳の女兒。下顎右側第一小臼歯のう蝕治療を目的として来院した。診察の結果、D)を抜歯して固定式の保隙装置を装着することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.18)を別に示す。

製作すると考えられる装置はどれか。1つ選べ。

- a 可撤保隙装置
- b バンドループ
- c クラウンディスタルシュー
- d ナンスのホールディングアーチ

▶小児歯科学

No. 18



選択肢考察

- × a 可撤保隙装置の適応用途は広いが、固定式ではなく小児自身が取り外しをする可撤式の保隙装置である。
- b バンドループは片側の乳臼歯の1歯欠損で、喪失部の後方の歯を支台歯として利用できる場合に適応する固定式の保隙装置である。
- × c クラウンディスタルシューは片側の第二乳臼歯の1歯欠損で、第一大臼歯萌出前である場合に適応する固定式の保隙装置である。
- × d ナンスのホールディングアーチは上顎乳臼歯欠損で、上顎第一大臼歯が萌出している場合に適応する固定式の保隙装置である。

正解 b

📖 DH25:P483

【問題 58】 75歳の男性。食事時のむせを主訴として来院した。3年前に脳梗塞の診断を受けたが、認知機能の低下や四肢麻痺はなく、現在は積極的なリハビリテーションを行っていないという。食事形態はミキサー食で水分にはとろみをつけておらず、20分程度で全量食べているとのことであった。初診時に行った改訂水飲みテストでむせを認めたが、嚥下時の喉頭挙上量は十分であった。嚥下造影検査の画像(別冊午後 No.19)を別に示す。

推奨されるのはどれか。2つ選べ。

- a ハイムリック法
- b アイスマッサージ
- c 水分のとろみ付与
- d 息こらえ嚥下の指導

選択肢考察

- × a ハイムリック法は窒息の原因となっている気道異物を除去する手段である。本症例で行う必要はない。
- × b アイスマッサージは主に随意的嚥下ができない患者に行われるため、適切でない。
- c 嚥下造影検査の画像から、液体嚥下後よりも、とろみ付き液体嚥下後の方が残留は認められないため、水分のとろみ付与が推奨される。
- d 息こらえ嚥下は嚥下前に意識的に声門を閉鎖することで、嚥下中の誤嚥を防ぎ、声門上に侵入した飲食物を嚙出す手技である。本問のような症例に有効である。

正解 c, d

DH 25:P555

▶高齢者・障害者歯科学

No. 19



液体嚥下後



とろみ付き液体嚥下後

【問題 59】 手段的日常生活動作(IADL)に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 着替え
- b 階段の昇降
- c 車椅子移動
- d 食事の支度

選択肢考察

- × a、× b、× c 着替え、階段の昇降、車椅子移動は日常生活動作(ADL)の評価項目である。
- d 食事の支度は手段的日常生活動作(IADL)の評価項目である。

正解 d

DH 25:P499

要点

- 主な ADL  
食事、移乗、整容、トイレ、入浴、歩行、階段昇降、更衣
- 主な IADL  
電話の使用、買物、食事の支度、家屋維持、洗濯、外出時の移動、服薬、家計管理

【問題 60】 72歳の男性。経口摂取を希望して来院した。2年前に上顎右側歯肉癌で上顎亜全摘と肩甲骨・広背筋皮弁による即時再建が行われ、現在まで胃瘻で栄養管理され、義歯は使用していないという。口腔清掃後に行った反復唾液嚥下テストは1回(2回以下を異常値とする)、改訂水飲みテストでは2点(嚥下あり、むせなし、呼吸切迫あり)であった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.20)を別に示す。

次に行うべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 咳テスト
- b フードテスト
- c スパイロメトリー
- d オーラルディアドコキネシス

選択肢考察

- a、○ b 摂食嚥下障害のスクリーニングテストとして、反復唾液嚥下テストと改訂水飲みテストを行っており、次に行うこととして、同じ嚥下機能のスクリーニングテストである咳テスト、フードテストは適切である。ただし2年前より胃瘻で栄養管理されているため、フードテストを行う際は検査食の1回量に十分注意する必要がある。
- × c スパイロメトリーは喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺疾患をはじめとする呼吸器の病気が疑われるときや、その状態をみるときに行う検査である。
- × d オーラルディアドコキネシスは口腔機能低下症の検査項目の1つである。

正解 a, b

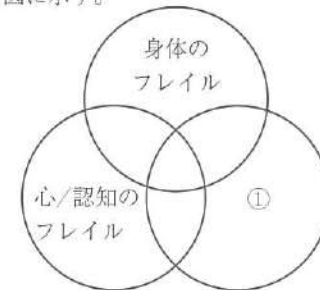
DH 25:P553

▶高齢者・障害者歯科学

No. 20



【問題 61】 フレイルの多面性を図に示す。



①に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a うつ
- b 独居
- c 握力低下
- d 経済的困窮

選択肢考察

- × a うつは心/認知のフレイルに該当する。
- b、○ d フレイルは身体的側面、精神心理的側面、社会的側面の3つの側面で説明される。①は社会的フレイルで、独居や経済的困窮、社会との関わりの希薄化などが該当する。
- × c 握力低下は身体フレイルに該当する。

正解 b, d

DH 25:P487

▶高齢者・障害者歯科学

[問題 62] 77歳の女性。食事時間の延長を主訴として来院した。半年前から自覚しているという。脳梗塞の既往がある。口腔内診査の結果、上下顎全部床義歯の適合は良好であった。ある検査を行ったところ基準値よりも低値を示した。検査機器の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 舌抵抗訓練
- b 舌可動域訓練
- c バルーン拡張訓練
- d 舌接触補助床の製作

▶高齢者・障害者歯科学  
No. 21



選択肢考察

- a 写真はプローブ型舌圧測定器である。圧測定用プローブを最大努力圧で押さえる最大押しつけ圧の測定により、様々な疾患における嚥下障害による舌筋力の低下の検出、また、リハビリテーションによる舌筋力の改善の評価において有用である。本問では脳梗塞の既往があり、検査において基準値の低下が認められたことから、舌の運動障害における舌筋力の低下が疑われる。舌抵抗訓練を行うことにより、舌の筋力向上を改善し、食塊形成や食塊の咽頭への移送機能を改善する目的がある。脳血管障害などによる準備期、口腔期障害の患者を対象とする。
- × b 舌の可動域が低下している可能性もあるが、本設問は舌筋力の低下が疑われており、最適な方法とはいえない。
- × c バルーン拡張訓練は食道入口部開大不全に対する間接訓練である。
- d 舌接触補助床を製作することで、口腔期の障害が改善されるため、食事時間の短縮が期待できる。

正解 a, d

DH25:P547

[問題 63] 歯肉炎と歯周炎を鑑別する所見はどれか。1つ選べ。

- a 歯肉腫脹
- b 歯肉出血
- c 真性ポケット
- d ステップリング

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× b 歯肉腫脹、歯肉出血は歯肉炎と歯周炎の両方にみられる所見である。
- c 真性ポケットは歯肉溝が病的に深くなり、接合上皮や結合組織性付着の位置がセメント-エナメル境より根尖側に移動した結果として形成される。歯肉炎ではみられず歯周炎でみられるため、両者を鑑別する所見である。
- × d ステップリングは健康な歯肉表面にみられる多数の小窩である。

正解 c

要点集 342:P21

[問題 64] 歯肉縁上歯石と比べた歯肉縁下歯石の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 唾液由来である。
- b 層状構造である。
- c 暗褐色を呈する。
- d 除去が困難である。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯周ポケット内の血清成分(歯肉滲出液)由来である。
- × b 無構造である。
- c 暗褐色または暗緑色を呈する。
- d 硬度は硬く、除去が困難である。

正解 c, d

要点集 342:P20

[問題 65] WHOの基準に従った器具の写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

この器具を用いた評価法に定められた診査項目はどれか。2つ選べ。

- a 歯垢付着
- b 歯肉出血
- c 歯の動揺度
- d 歯周ポケット深さ

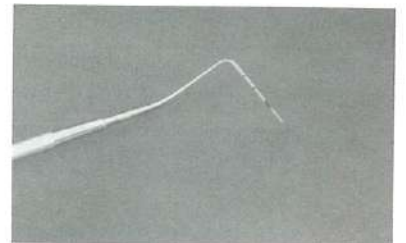
▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯垢の付着状況は診査項目には含まれない。
- b、○ d 歯肉からの出血はCPIプローブの挿入で診査する。写真が示すのはCPIプローブである。CPIプローブ先端が直径0.5mmの球状をなし、3.5mmと5.5mmの間に黒いバンドがあり、先端から8.5mm、11.5mmの部分に刻みが入っている。プロービングにより出血と歯周ポケット深さを診査する。
- × c 歯の動揺度はCPIプローブで診査できない。

正解 b, d

DH25:P612



[問題 66] う蝕活動性試験の目的はどれか。2つ選べ。

- a う蝕進行度の判定
- b 一人平均う蝕歯数の算出
- c 歯科保健指導におけるプラークコントロールの動機づけ
- d 集団を対象に歯科保健指導を行う際のリスクスクリーニング

▶歯科予防処置

選択肢考察

- c、d う蝕活動性試験の目的は、う蝕感受性の高い人をスクリーニングし適切な処置を行うことでう蝕の発生を予防し、進行を阻止することである。

正解 c, d

DH25:P644

【問題 67】 慢性歯周炎と関連性が高いのはどれか。2つ選べ。

- a *Clostridium tetani*
- b *Mycobacterium leprae*
- c *Tannerella forsythia*
- d *Treponema denticola*

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× b *Clostridium tetani* (破傷風菌) は破傷風の原因菌、*Mycobacterium leprae* (らい菌) はハンセン病の原因菌である。慢性歯周炎との関連性はない。
- c、○ d *Tannerella forsythia*、*Treponema denticola* に *Porphyromonas gingivalis* を加えた3菌種は、病原性が強く慢性歯周炎の発症や悪化に関連性が高い細菌として、レッドコンプレックスとして提唱されている。

正解 c、d

📖 要点集 342:P23

【問題 68】 44歳の女性。歯石除去を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.23 A)とグレーシートタイプキュレットの写真(別冊午後 No.23B)を別に示す。

写真Aのスケーリングに適切なのはどれか。1つ選べ。

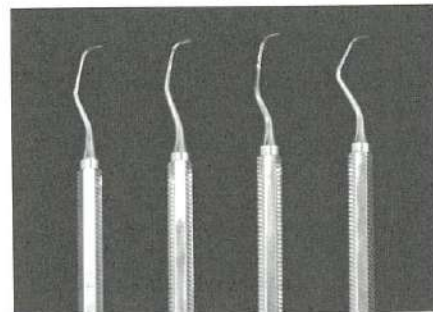
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

No.23 A



B



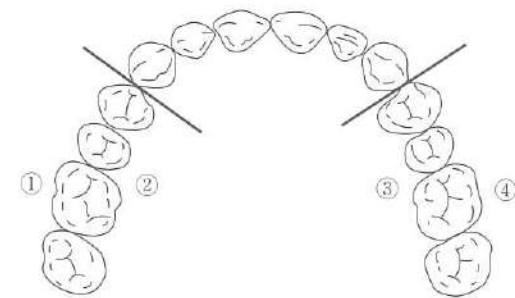
① ② ③ ④

選択肢考察

- a ①は#5で、前歯部に用いる。
- × b ②は#11で、白歯部近心面に用いる。
- × c ③は#13で、白歯部遠心面に用いる。
- × d ④は#7で、白歯部頬舌側に用いる。

正解 a

【問題 69】 上顎の歯石除去区分を図に示す。



バックポジションで行うのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a ①は④～⑦までの頬側面である。この部位はフロントポジションで操作する。
- b ②は④～⑦までの口蓋側面である。この部位はバックポジションから操作する。
- × c ③は④～⑦までの口蓋側面である。この部位はサイドポジションから操作する。
- d ④は④～⑦までの頬側面である。この部位はバックポジションから操作を行う。

正解 b、d

【問題 70】 シャープニングに用いる砥石の目的はどれか。1つ選べ。

- a 砥石の目づまりを防止する。
- b カuttingエッジを滑沢にする。
- c 研磨後の触覚による確認を容易にする。
- d 研磨時の発熱による刃部損傷を防止する。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× d シャープニングでは、スケーラーから出る金属粒子や砥粒で砥石を目づまりさせないように、また砥石の乾燥や研磨時の発熱による刃部の損傷を防ぐために潤滑材を用いる。
- b Cuttingエッジを滑沢にするのは砥石の目的である。
- × c 研磨の触覚による確認はテスト棒の目的である。

正解 b

📖 DH25:P633

[問題 71] 65歳の男性。上顎左側大白歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断し、歯周基本治療を行った。歯周基本治療が終了した時点で、糖尿病が悪化したため一時来院が中断し、6か月後に再来院した。O'LearyのPCRは50%、HbA1cは6.4%である。再来院時の口腔内写真(別冊午後No.24 A)とエックス線画像(別冊午後No.24 B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側*	⑤	3	⑤	⑤	③	⑤	⑤	③	⑥
歯種	5		6		7				
口蓋側*	④	4	④	④	2	④	⑤	3	⑥
動揺度	0		0		0				

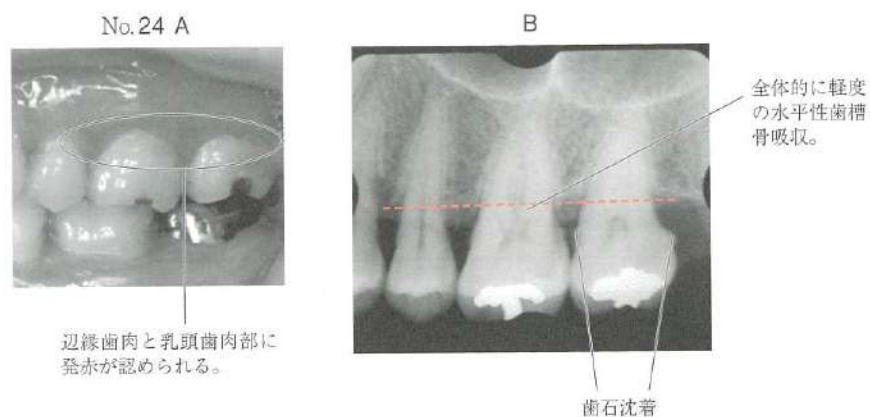
\* :プロービング深さ(mm)

○印:プロービング時の出血

適切な処置はどれか。1つ選べ。

- a 新付着術
- b フラップ手術
- c ルートプレーニング
- d サポートタイプペリオドンタルセラピー(SPT)に移行

▶歯科予防処置



選択肢考察

- × a、× b 6か月間の治療中断で、歯周炎が再発したと考えられる。PCRも高く、辺縁および乳頭歯肉の発赤、歯石沈着もあることから、再び歯周基本治療から始める必要がある。
- c モチベーション、口腔清掃指導、スケーリング・ルートプレーニングを行う。また、糖尿病と歯周病の相互作用についても説明し、糖尿病のコントロールとともに、歯周病の治療、メンテナンスの重要性を患者に理解してもらう。歯周基本治療が終了したとはいえ、6か月間の中断があり、口腔内写真と歯周組織検査から炎症症状があることがわかる。PCRが50%と高く、エックス線画像で明らかな歯肉縁下歯石を認めるため、基本治療に戻るのが妥当である。HbA1cは6.4%であり、通常の歯周治療を行うことに問題はない。
- × d 糖尿病の状態によっては、積極的な治療を行わずSPTへと移行する場合があるが、HbA1cの値から通常の歯周治療が可能である。また、少なくとも歯周基本治療は確実にを行う必要がある。

正解 c

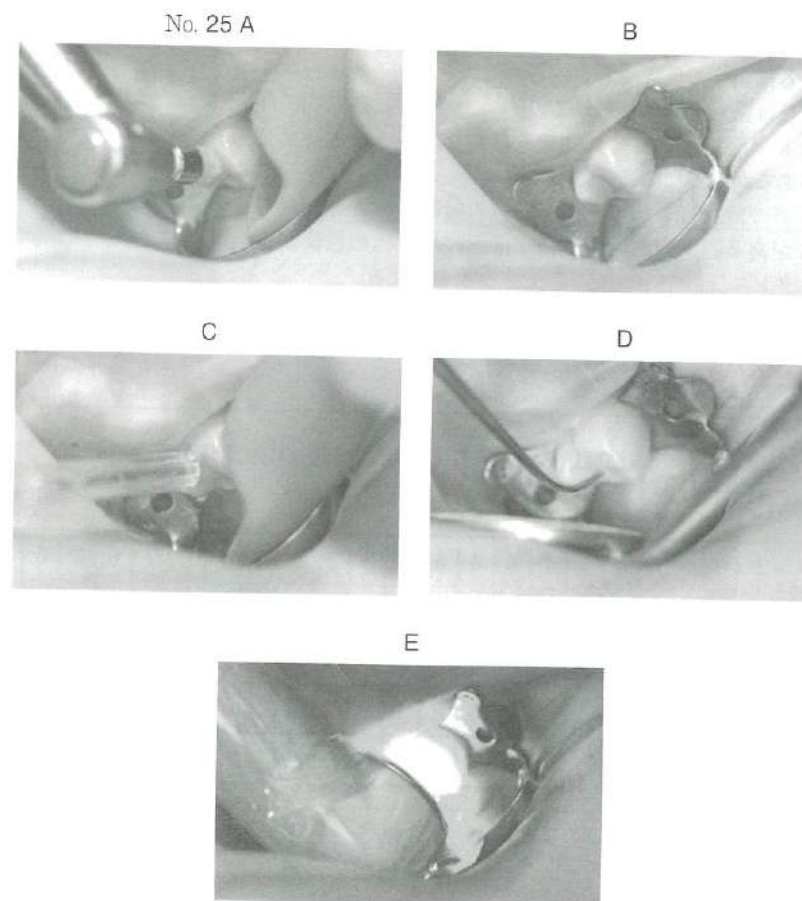
DH 25:P 370

[問題 72] 11歳の女児。定期健診のため来院した。上顎左側第一小臼歯にう蝕予防処置を行うことになった。処置過程の口腔内写真(別冊午後No.25 A、B、C、D、E)を別に示す。

写真Bの処置の目的はどれか。1つ選べ。

- a 有機質の溶解
- b 歯面の粗粒化
- c 知覚過敏の抑制
- d スメア層の除去

▶歯科予防処置



選択肢考察

- × a エッチングにより、無機質が溶解される。
- b 写真は小窩裂溝填塞の手順を示している。A: 歯面清掃、B: エッチング、C: 水洗、D: シーラント填塞、E: 光照射である。エッチングの目的には①清掃作用(スメア層の除去)②歯面の粗粒化③接着面積の増加④極性化作用⑤ぬれ性の向上⑥機械的嵌合の獲得(投錠効果)がある。
- × c エッチングの範囲が広すぎると知覚過敏の原因となる。
- × d スメア層は切削された歯質の表面にできるが、小窩裂溝填塞では歯の切削は行なわない。

正解 b

DH 25:P 679

[問題 73] 40歳の女性。歯の着色を気にして来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.26)を別に示す。

着色の原因で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
- b 先天的変色
- c 抗菌薬の長期服用
- d 頻回な紅茶の飲用

▶ 歯科予防処置

No.26



選択肢考察

- a 喫煙による歯面への色素沈着がみられることがある。
- × b 先天的変色は歯冠全体にみられる。
- × c 抗菌薬を長期服用すると歯交代現象により黒毛舌などが生じることがあるが、歯面の着色はみられない。
- d 頻回の紅茶の飲用によってタンニン鉄の歯面への沈着がみられることがある。下顎前歯部舌側平滑面に黒褐色の色素がみられる。タンニン鉄やニコチンの沈着と考えられる。

正解 a, d

📖 要点集 342:P11

[問題 74] 50歳の女性。定期健康診査で来院し、下顎前歯部の冷水痛を訴えている。ポケット測定の結果を表に示す。BOP、動揺および歯の実質欠損はない。

アタッチメントレベル (mm)	舌側	7	6	6	6	5	6	7	6	7	7	6	7	6	5	6	7	6	7
PPD (mm)	舌側	3	2	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	2	1	3	3	2	3
歯種		43		42		41		31		32		33							
PPD (mm)	唇側	3	2	3	2	1	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	3	2	3
アタッチメントレベル (mm)	唇側	7	6	7	6	5	6	7	6	7	7	6	7	6	5	6	7	6	7

処置に使用すると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a フッ化ジアンミン銀
- b 接着性レジンセメント
- c フッ化物パーニッシュ
- d グラスアイオノマーセメント

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 前歯部のため、フッ化ジアンミン銀は適応とならない。
- × b 接着性レジンセメントは、修復物の接着や歯の動揺の暫間固定に用いる。歯の動揺もなく、また動揺が原因でないため不適である。
- c 上下前歯のアタッチメントレベルが5~7mm、PPDが1~3mmであることから、3+3にわたり歯根露出がみられることが予想される。従って、下顎前歯の冷水痛は歯根露出による知覚過敏が原因である。フッ化物パーニッシュは歯根面への定着がよいフッ化物で、知覚過敏症に対して使用される。
- × d 実質欠損がないため、グラスアイオノマーセメントによる修復は行わない。

正解 c

📖 DH 25:P662

[問題 75] フッ化物の急性中毒症状はどれか。2つ選べ。

- a 流涎
- b 痙攣
- c 便秘
- d 骨硬化症

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 軽度の急性中毒では、悪心、嘔吐、流涎がみられるが、数時間後には消失する。
- b 重篤な急性中毒になると麻痺や痙攣が起り、呼吸困難に陥り死に至る。
- × c 急性中毒では下痢や腹痛がみられる。
- × d 骨硬化症や歯のフッ素症は慢性中毒症状である。

正解 a, b

[問題 76] 歯周病のブラークリテンションファクターはどれか。2つ選べ。

- a 根面溝
- b 中心結節
- c エナメル突起
- d プロトスタイリッド

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 清掃不良になりやすく、根面溝に沿って歯周ポケットが形成されやすい。
- × b 中心結節は歯の形態異常の一種で咬合面中央部に出現する円錐状や棒状の小突起である。
- c エナメル突起は根分岐部に発生し、深い歯周ポケットが形成されやすく根分岐部病変の原因となる。
- × d プロトスタイリッドは歯の形態異常の一種で下顎大白歯近心頬側面に出現する過剰結節である。歯周病のブラークリテンションファクターではない。

正解 a, c

📖 DH 25:P329

[問題 77] 患者のスクレーリング中に、手が滑って術者自身の指を切ってしまった。対処の順序を示す。

- ① グローブの撤去 → 流水下洗浄 → 傷の消毒
- ② グローブの撤去 → 傷の消毒 → 流水下洗浄
- ③ 流水下洗浄 → グローブの撤去 → 傷の消毒
- ④ 流水下洗浄 → 傷の消毒 → グローブの撤去

適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a スクレーリングなどの観血的処置時に誤って裂傷を負った場合、まずはグローブをはずし、傷口を流水下で洗浄する。十分な洗浄後、創部を消毒する。

正解 a

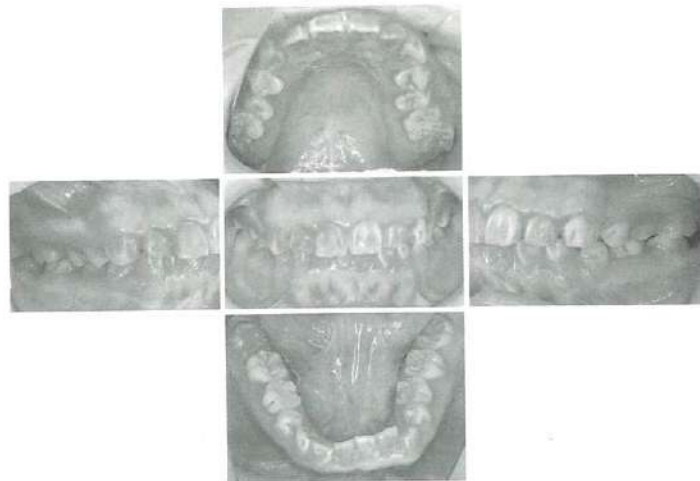
〔問題 78〕 16歳の女子。矯正歯科から口腔衛生管理の依頼があり来院した。矯正歯科治療開始予定であるという。朝食摂取後に、普段どおりの口腔清掃を行ったという。染め出し時の口腔内写真(別冊午後 No.27 A)、う蝕活動性試験の結果(別冊午後 No.27 B)を別に示す。

検査結果から口腔衛生指導内容に反映すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液緩衝能の低下
- b 唾液分泌量の低下
- c プラークの付着状態
- d う蝕関連細菌数の増加

▶ 歯科保健指導

No. 27 A



B



唾液緩衝能

う蝕関連細菌活動性

選択肢考察

- a 唾液緩衝能が低くう蝕リスクが高いと考えられるため、口腔ケアに対するモチベーションを高める必要がある。
- × b 唾液分泌量の検査は実施していない。
- c 患者自身で普段どおりの口腔清掃を行っていても全顎的に多量のプラークが付着しており、ブラッシング指導が必要である。
- × d う蝕関連細菌の活動性は検査しているが、細菌数が増加しているかどうかは判断できない。

正解 a, c

DH25:P648

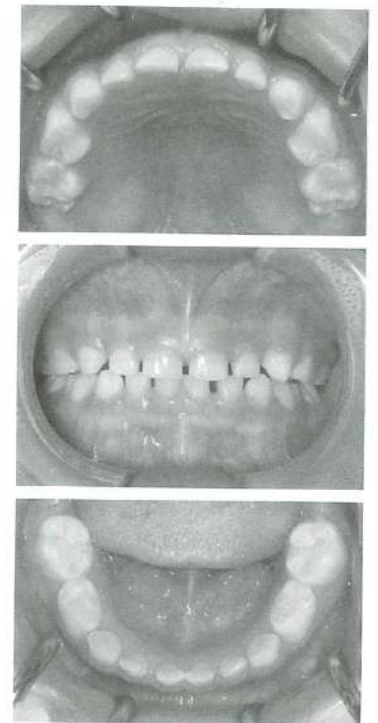
〔問題 79〕 2歳6か月の女児。口腔管理を希望して来院した。家族構成は両親、9歳の兄の4人である。離乳は完了している。就寝時に吸指癖があるが、それ以外に気になることはないという。口腔内写真(別冊午後 No.28)を別に示す。

保護者への説明として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 「フッ素入りの歯磨剤を使用しましょう」
- b 「指しゃぶりは直ちにやめさせてください」
- c 「おやつは兄が帰宅してから一緒に食べましょう」
- d 「子どもに歯ブラシは使わせないようにしましょう」

▶ 歯科保健指導

No. 28



選択肢考察

- a 歯の萌出後は年齢に応じた濃度と量のフッ化物配合歯磨剤を使用する。
- × b 指しゃぶりは小児の健全な精神発達段階の1つとして必要な反応でもあり、3歳までは様子を見る。直ちにやめさせる必要はない。
- × c 幼児のおやつは、3食の食事で不足する栄養源を補うものとして必要である。9歳の兄と時間を合わせるのではなく、適切なタイミングで1日に1~2回、時間を決めて与える。
- × d 子ども自身ではまだしっかりしたブラッシングはできないが、保護者の管理下で歯ブラシを使用させ、慣れさせることが望ましい。

正解 a

〔問題 80〕 歯科健康診査において、1日10本の喫煙習慣を認める妊娠初期の患者への説明で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 「早産の可能性があります」
- b 「加熱式タバコに変更しましょう」
- c 「妊娠12週までは禁煙してください」
- d 「歯周病を進行させる可能性があります」

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a, ○ d 喫煙は歯周病のリスクを高めるだけでなく、妊婦が喫煙すると低体重児の出産、早産、妊娠中の異常、乳幼児突然死症候群などのリスクが高くなる。
- × b 加熱式タバコにもニコチンを始めとした有害物質が含まれているため、推奨することはできない。
- × c 喫煙は妊娠初期だけでなく、妊娠中を通じて妊婦や胎児に悪影響がある。

正解 a, d

DH25:P701

【問題 81】 緩和ケアで行われるのはどれか。2つ選べ。

- a 患者のトリアージ
- b 積極的な延命処置
- c 患者の意思決定の尊重
- d 多職種連携による生活支援

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a トリアージとは大規模災害時に緊急度、重症度、予後を考慮して多数の傷病者を分類する手法である。
- × b がん医療における緩和ケアは、辛くならないようにがんと付き合っていく方法である。がんが進行した時期だけではなく、診断や治療と並行して行う。診断されたときの精神的苦痛や不眠、抗悪性腫瘍薬や放射線治療に伴う副作用へのケアも対象となる。積極的な延命処置は緩和ケアではない。
- c 全医療において、患者に意思決定能力がある、あるいは事前指示がある場合、それを尊重することを原則とする。
- d 緩和ケアでは、疼痛コントロール、栄養管理、床ずれの予防やケア、胸水や腹水の管理など、患者の病状、様子に合わせてこまやかな治療が行われる。また、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、介護職など、多職種にわたる専門家による生活支援が提供される。

正解 c、d

DH25:P745

【問題 82】 85歳の男性。口蓋粘膜の疼痛を主訴として来院した。8年前から上顎全部床義歯を使用しているという。検査の結果、口腔カンジダ症と診断され、歯科医師から口腔衛生管理を行うよう指示された。来院時の口腔内写真(別冊午後 No.29 A)、義歯の写真(別冊午後 No.29 B)及び適合試験後の義歯の写真(別冊午後 No.29 C)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 抗菌薬の塗布
- b 義歯の清掃指導
- c 義歯安定剤の使用
- d 副腎皮質ステロイド軟膏の塗布

▶ 歯科保健指導

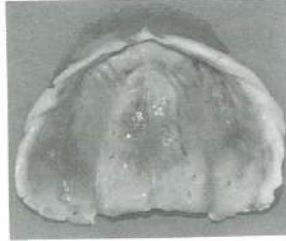
No. 29 A



B



C

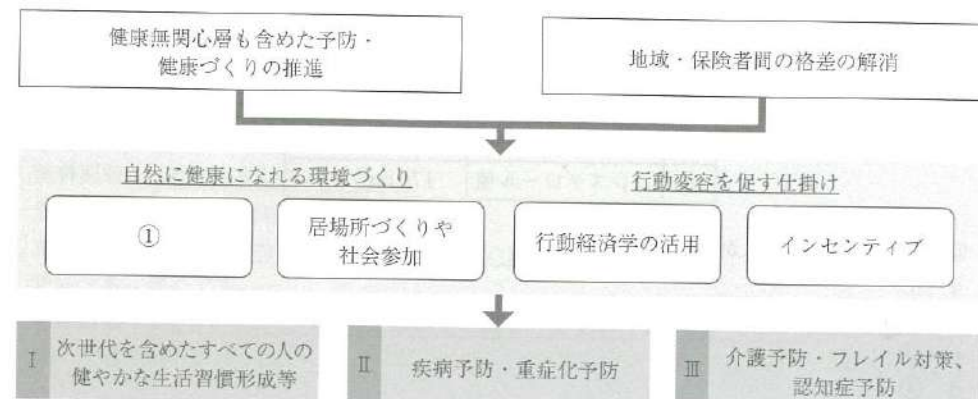


選択肢考察

- × a、× d 口腔カンジダ症は真菌の感染が原因であるため、薬物を用いる場合はミコナゾールやアムホテリシン B などの抗真菌薬を用いる。抗菌薬や副腎皮質ステロイド軟膏の長期投与は口腔カンジダ症の原因となり得る。
- b 義歯清掃や口腔清掃を行い、口腔衛生状態の改善を図るのは適切である。
- × c 適合試験後の義歯の写真より適合は比較的良好と考えられるため、義歯安定剤を使用する必要はない。

正解 b

【問題 83】 健康寿命延伸プランの概要を図に示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a 健康測定
- b メンタルヘルスケア
- c 健康な食事や運動ができる環境
- d 個々の住民への知識や技術の提供

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b 労働者の心身両面にわたる健康保持増進措置をトータルヘルスプロモーションプラン (THP) という。THP の第一段階は産業医が中心となり、健康測定と健康づくりに関する全般的な指導が行われる。第二段階では産業医の指導票に基づき運動指導、保健指導、メンタルヘルスケア、栄養指導などの健康指導が行われる。
- c 2019年5月29日の厚生労働省「第2回2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」において、「誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現」のための3本柱の1つとして「健康寿命延伸プラン」が発表された。このプランを達成するため、健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進と、地域・保険者間の格差の解消に向け、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」を活用し、「次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成」「疾病予防・重症化予防」「介護予防・フレイル対策、認知症予防」の3分野を中心に取り組みを推進している。①には「健康な食事や運動ができる環境」が該当する。

◎ 健康寿命延伸プラン



- × d 今日の保健対策の基礎であるヘルスプロモーションを示す概念図では、住民参画、個々の住民への知識や技術の提供、健康を支援する環境づくりが、豊かな人生につながるとされている。

正解 c

〔問題 84〕 73歳の男性。食事がうまく摂れないと相談を受け、歯科医師とともに訪問した。1年前に脳出血を発症し、現在、在宅療養中であるという。最近の栄養アセスメント結果を表に示す。

①	BMI	17.9
②	体重減少率	6か月で12%
③	血清アルブミン値	4.0g/dL
④	コレステロール値	170mg/dL

低栄養を疑うのはどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、b ● 低栄養の目安
- ・ 体重減少率：6か月で10%以上
  - ・ BMI：20以下
  - ・ 血清アルブミン値：3.8g/dL以下
  - ・ 血中コレステロール値：150mg/dL未滿

正解 a、b

DH 25:P725

〔問題 85〕 経口補水液が含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 病者用食品  
b 栄養機能食品  
c 機能性表示食品  
d えん下困難者用食品

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、× d 経口補水液は特別用途食品のうち、脱水症のための食事療法として世界保健機関（WHO）が提唱する経口補水療法に用いる病者用食品である。特別用途食品には病者用食品、妊産婦授乳婦用粉乳、乳児用調整乳、えん下困難者用食品、特定保健用食品があり、国の制度で決められたマークがついている。
- × b 栄養機能食品は、健康の維持等に必要な栄養成分（ミネラル、ビタミン）の補給を主な目的として摂取する人に対して、特定の栄養成分を含むものとして、定められた基準に従ってその栄養成分について機能の表示をしている食品である。特定のマークはない。
- × c 機能性表示食品は、事業者の責任において、科学的根拠に基づき特定の保健の目的が期待できるという機能性を表示した食品である。特定のマークはない。

正解 a

DH 25:P720

次の文を読み〔問題 86〕、〔問題 87〕に答えよ。

52歳の女性。冷たいものがしみることを主訴として来院した。視診では口腔清掃状態は良好である。口腔内写真（別冊午後 No.30）を別に示す。初診時の患者と歯科医師との会話の一部を示す。

歯科医師：①「いつからしみますか？」

患者：2か月ほど前からです。

歯科医師：②「どのような痛みですか？」

患者：刺すような痛みです。

歯科医師：③「どのような歯ブラシを使用していますか？」

患者：硬めです。

歯科医師：④「場合によっては神経を取るようになりますが、よろしいですか？」

患者：はい。

〔問題 86〕 焦点を絞った質問はどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

〔問題 87〕 この患者への歯科保健指導で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯磨きの回数を減らす。  
b しみる部分は避けて磨く。  
c ブラッシング圧を弱める。  
d 硬い食べ物をできるだけ控える。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

〔問題 86〕

- a、○ c ①「いつからしみますか？」、③「どのような歯ブラシを使用していますか？」は、**焦点を絞った開かれた質問**である。
- × b ②「どのような痛みですか？」に対する答え方は多様であり、**開かれた質問**である。
- × d ④は「はい」「いいえ」で答える質問であり、**閉ざされた質問**である。

No.30



〔問題 87〕

- × a 歯磨き回数に関する記載がないが、口腔清掃状態は良好なため、歯磨き回数は問題ないと思われる。
- × b 過度なブラッシング圧による知覚過敏症が原因と考えられ、治療後はブラッシング圧に注意しながら磨くよう指導する。
- c 歯ブラシの硬さとブラッシング圧が原因として考えられるため、「ふつう」の刷毛の歯ブラシで、ブラッシング圧を弱めて磨くよう指導する。
- × d 象牙質知覚過敏症と食べ物の硬さは関係ない。

正解 〔問題 86〕 a、c

〔問題 87〕 c

DH 25:P254

【問題 88】 問題志向型診療録作成に用いられる SOAP の「O」に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 主 訴
- b 自覚症状
- c スケーリング実施
- d 生体監視モニタ情報

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b 問題志向型診療録 (POMR: Problem-Oriented Medical Record) で用いる記述方式を SOAP という。主訴、自覚症状は患者が訴えている主観的情報であり、S (Subjective data) に該当する。
- × c スケーリングは歯科衛生士が実施したことであり、P (Plan) に該当する。
- d 生体監視モニタ情報は客観的情報であり、O (Objective data) に該当する。

正 解 d

DH25:P759

【問題 89】 日本人の食事摂取基準 (2020 年版) で生活習慣病の予防を目的とする指標はどれか。1つ選べ。

- a 推奨量
- b 目安量
- c 目標量
- d 推定平均必要量

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 推奨量とは推定平均必要量を補助する目的で設定される。ほとんどすべての人が必要量を満たす量である。
- × b 目安量とは十分な科学的根拠が得られず、推定平均必要量と推奨量が設定できない場合に設定される。一定の栄養状態を維持するのに十分な量であり、目安量以上を摂取している場合は不足のリスクはほとんどない量である。
- c 目標量とは「生活習慣病の発症予防のために現在の日本人が当面の目標とすべき摂取量」として設定される。
- × d 推定平均必要量とは 50% の人が必要量を満たすと推定される量である。

正 解 c

DH25:P715

要 点

日本人の食事摂取基準 (2020 年版) は、健康増進法に基づき厚生労働大臣が定めるもので、国民の健康の保持・増進を図る上で摂取することが望ましいエネルギー及び栄養素の量の基準を示すものである。健康な個人及び集団を対象としている。使用期間は、令和 2 (2020) 年度から令和 6 (2024) 年度の 5 年間である。5 年ごとに改定される。2020 年版の策定方針は栄養に関連した身体・代謝機能の低下の回避の観点から、健康の保持・増進、生活習慣病の発症予防及び重症化予防に加え、高齢者の低栄養予防やフレイル予防も視野に入れて策定を行うこととした。このため、関連する各種疾患ガイドラインとも調和を図っていくこととした。栄養素の指標は 3 つの目的からなる 5 つの指標で構成される。

目 的	栄養素の指標
栄養素の摂取不足の回避	推定平均必要量、推奨量、目安量
過剰摂取による健康障害の回避	耐容上限量
生活習慣病の予防	目標量

【問題 90】 72 歳の男性。3 か月前に舌癌を発症し、放射線治療と化学療法中である。歯科医師から口腔衛生管理の指示を受けた。患者は口腔粘膜炎を発症しており、強い痛みがあるという。口腔清掃を行う際、ペインコントロールに使用する薬剤で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a モルヒネ
- b プロポフォール
- c リドカイン塩酸塩
- d ジクロフェナクナトリウム

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

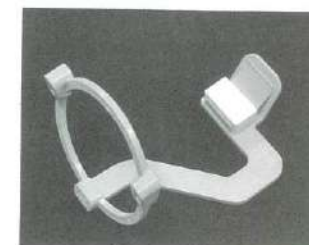
- × a モルヒネは癌性疼痛に対して用いられる鎮痛薬であり、口腔清掃の際の除痛には用いられない。
- × b プロポフォールは静脈内麻酔薬で、全身麻酔に用いられる。
- c リドカイン塩酸塩は局所麻酔薬で、表面麻酔用のリドカインを局所適用する。
- × d ジクロフェナクナトリウムは非ステロイド性抗炎症薬で、歯痛や抜歯後疼痛に対して用いられる。

正 解 c

【問題 91】 口内法エックス線撮影の補助具の写真 (別冊午後 No.31) を別に示す。使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 線量の調整
- b 頭部の固定
- c 検出器の保持
- d 散乱線の除去

▶ 歯科診療補助  
No. 31



選択肢考察

- × a 管電圧、管電流、照射時間を操作することで線量を調整する。
- × b ヘッドレストを用いて頭部の固定を行う。
- c 写真の補助具は口内法エックス線撮影用のフィルムホルダーで、エックス線の入射方向を規定する機能を併せもつインジケータ型である。検出器の保持は撮影補助具の主目的である。
- × d 散乱線の除去は、グリッドを用いる。

正 解 c

【問題 92】 HBV に有効なのはどれか。1つ選べ。

- a クレゾール石けん
- b 消毒用エタノール
- c 次亜塩素酸ナトリウム
- d 塩化ベンザルコニウム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× b、× d クレゾール石けん、消毒用エタノール、塩化ベンザルコニウムは無効である。
- c HBV には次亜塩素酸ナトリウムやグルタラールが有効である。

正 解 c

DH25:P788

【問題 93】 58歳の女性。下顎左側第二大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。レジン添加型グラスアイオノマーセメントを用いて修復を行うことになった。初診時と修復後の口腔内写真(別冊午後No.32 A)と修復過程の写真(別冊午後No.32 B)を別に示す。

修復操作の順序で正しいのはどれか。1つ選べ。

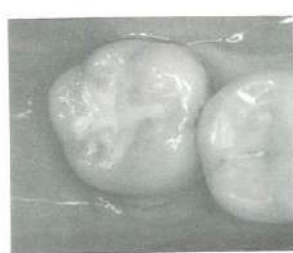
- a ①→③→④→②  
b ③→①→②→④  
c ③→①→④→②  
d ③→②→①→④

▶ 歯科診療補助

No. 32 A



初診時

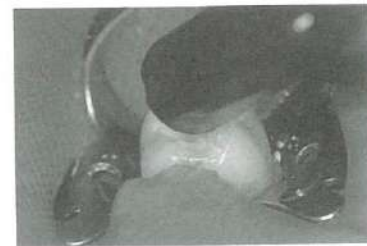


修復後

B



①



②



③



④

選択肢考察

- c 修復操作の順序は③→①→④→②である。  
③は被着面の酸処理(デンティンコンディショニング、象牙質前処理、歯面処理)をしている。レジン添加型クラスアイオノマーセメントを用いる場合は、10~25%のポリアクリル酸で10~20秒程度の酸処理を行う。  
①はレジン添加型グラスアイオノマーセメントをシリンジで充填している。  
④は充填したレジン添加型グラスアイオノマーセメントを形成器で賦形している。  
②はレジン添加型グラスアイオノマーセメントを光照射器で重合している。

正解 c

DH25:P679

【問題 94】 MRSA 陽性患者に対する周術期口腔機能管理の際に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 標準予防策  
b 空気感染予防策  
c 垂直感染予防策  
d 接触感染予防策

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 標準予防策(スタンダードプレコーション)は感染症の有無に関わらず、すべての患者に適用する必要がある。  
× b、× c、○ d MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)は主に接触感染で伝播し院内感染を引き起こす多剤耐性菌であり、接触感染予防策を講じる必要がある。その他感染経路の予防策はMRSAに対して優先的に講じるべきものではない。

正解 a, d

DH25:P784

【問題 95】 フラップ手術の治療過程を示す。ただし、①~④はa~dのいずれかに該当する。

浸潤麻酔→①→②→③→④→スケーリング・ルートプレーニング→縫合

④に入るのはどれか。1つ選べ。

- a 切開  
b 剝離  
c 肉芽除去  
d ボーンサウンディング

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- c ボーンサウンディングは歯周プローブなどを歯肉に刺入して歯槽骨の形態を探るために行う。フラップ手術の内斜切開は歯槽骨頂に向けて行うため、歯槽骨の高さや形態を前もって推測する必要がある。従って、浸潤麻酔→①ボーンサウンディング→②切開→③剝離→④肉芽除去→スケーリング・ルートプレーニング→縫合の順で行う。

正解 c

DH25:P830

【問題 96】 器具の写真(別冊午後 No.33)を別に示す。

根管充填の側方加圧充填法においてガッタパーチャポイントの加圧に使用するのはどれか。2つ選べ。

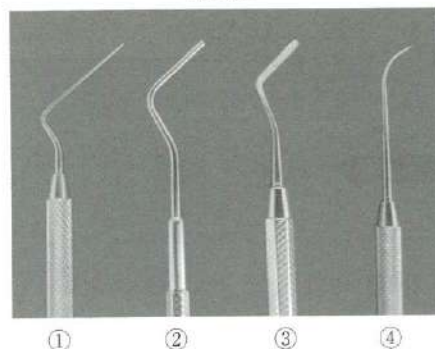
- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a ガッタパーチャポイントを用いた根管充填法は、側方加圧充填と垂直加圧充填に大別される。側方加圧充填は、スプレッターによりマスターポイントを押接し、生じた空隙にアクセサリーポイントを挿入、以後、スプレッターによる圧接とアクセサリーポイントの挿入を繰り返す方法である。①はスプレッターである。スプレッターによりガッタパーチャポイントを側方に圧接し、空隙を設ける。
- b ②はブラガーである。ブラガーはガッタパーチャポイントを根尖方向に圧接するための器具で、側方加圧充填と垂直加圧充填の両方で用いる。
- × c ③は圧排子(ジンパッカー)である。歯肉圧排時に、圧排糸を歯肉溝に挿入する際に用いる。
- × d ④は探針である。う蝕の状態の確認、歯冠修復物・充填物の歯質との適合状態の診査、歯石の探知などを触診する器具である。

No. 33



正解 a、b

DH 25:P 318

【問題 97】 80歳の女性。食事中に鼻から食片が出てきた。

原因を調べるための検査法はどれか。1つ選べ。

- a フードテスト  
b ブローイング検査  
c 改定水飲みテスト(MWST)  
d 反復唾液嚥下テスト(RSST)

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× c、× d フードテスト、改定水飲みテスト(MWST)、反復唾液嚥下テスト(RSST)は誤嚥のスクリーニングテストである。
- b ブローイング検査はコップの水をストローで吹き続け、鼻孔に当てたステンレス板についた鼻息の程度を評価する。食事中、鼻から食片が出てきたということは鼻咽腔閉鎖機能不全を疑う。従って、鼻咽腔閉鎖機能を調べる検査法を選べばよい。ブローイング検査、発声言語の聴覚判定が検査として考えられる。

正解 b

DH 25:P 561

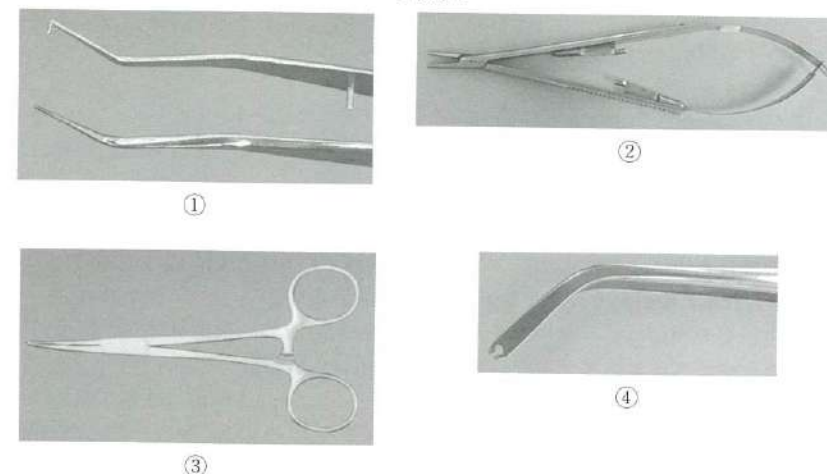
【問題 98】 55歳の女性。下顎左側第一小白歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。3年前から歯肉腫脹を繰り返していたという。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療後の再評価の結果、GTR法を行うことになった。歯周外科用器具の写真(別冊午後 No.34)を別に示す。

GTR膜の把持に使用するのはどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助

No. 34



選択肢考察

- × a ①はポケットマーカである。ポケット底の位置の確認に用いる。
- × b ②はカストロビジョ型持針器である。
- × c ③は止血鉗子である。血管をはさんで止血する際に用いる。
- d ④はコーンのプライヤーである。GTR膜の把持に使用する。

正解 d

DH 25:P 355

【問題 99】 アナフィラキシーショックでみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 徐脈  
b 意識障害  
c 出血傾向  
d 皮膚発赤

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a、× c 徐脈、出血傾向はアナフィラキシーショックでみられない。
- b アナフィラキシーショックの重症例では意識障害を起し、心室細動から心停止へ移行することがある。
- d アナフィラキシーショックでは皮膚発赤、蕁麻疹、顔面浮腫などが出現する。

正解 b、d

【問題 100】 乳歯の麻酔抜髄で根管拡大後の術式と使用薬剤・材料を図に示す。



正しい組合せはどれか。1つ選べ。

- |   | ①           | ②             |
|---|-------------|---------------|
| a | ヨードホルム製剤    | MTA セメント      |
| b | ヨードホルム製剤    | グラスアイオノマーセメント |
| c | ガッタパーチャポイント | リン酸亜鉛セメント     |
| d | ガッタパーチャポイント | グラスアイオノマーセメント |

▶ 歯科診療補助

#### 選択肢考察

- × a、○ b 乳歯の根管充填には水酸化カルシウム製剤、ヨードホルム製剤、酸化亜鉛ユージノール製剤が一般的に用いられる。仮封材で MTA セメントは用いられない。
- × c、× d 乳歯の根管充填にはガッタパーチャポイントは用いない。仮封材はリン酸亜鉛セメントは一般的に用いられず、グラスアイオノマーセメントが用いられる。

正解 b

DH 25:P 481

【問題 101】 マルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療中の口腔内写真(別冊午後 No.35)を別に示す。

矢印の歯の遠心移動に併用するのはどれか。1つ選べ。

- a II級ゴム
- b 交叉ゴム
- c エラスティックチェーン
- d エラスティックセパレーター

▶ 歯科診療補助

#### 選択肢考察

- × a II級ゴムは上顎の前歯部と下顎白歯部にかけるゴムで上顎前歯の舌側移動、下顎白歯の近心移動に用いる。
- × b 交叉ゴムは上顎の頬側、下顎の舌側もしくは上顎の口蓋側、下顎の頬側にかけるゴムで鉗状咬合や交叉咬合の改善に用いる。
- c 口腔内写真より第一小白歯部に抜歯空隙が存在し、犬歯を遠心移動するところである。犬歯の単独遠心移動にはエラスティックチェーンやクロズドコイルスプリングを用いる。エラスティックチェーンはエラスティックを鎖状に連ねたもので、白歯部と犬歯にかけることで犬歯の遠心移動が可能である。
- × d エラスティックセパレーターはゴムの小リングで、白歯の歯間に挿入し歯間分離に用いる。

正解 c

DH 25:P 887



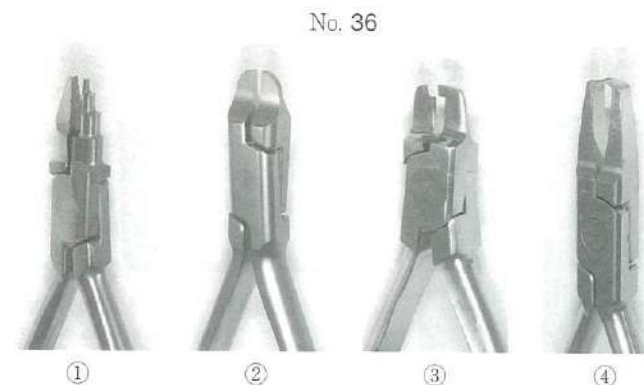
No. 35

【問題 102】 矯正歯科治療に使用する器具の写真(別冊午後 No.36)を別に示す。

ブラケットの撤去に使用するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助



#### 選択肢考察

- × a ①はヤングブライヤーで、比較的太いワイヤーを屈曲するためのブライヤーである。補助弾線やクラスプの屈曲、調整に用いる。
- × b ②はツイードアーチベンディングブライヤーで、レクタングュラーワイヤー(角線)へのトルクの付与や屈曲に用いる。
- × c ③はバンドマージンコンタリングブライヤーで、バンドの辺縁の調整に用いる。
- d ④はブラケットリムービングブライヤーで、接着したブラケットを歯面から撤去するのに用いる。

正解 d

DH 25:P 877

【問題 103】 歯質接着性を有しないセメントはどれか。1つ選べ。

- a EBA セメント
- b レジンセメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

▶ 歯科診療補助

#### 選択肢考察

- a EBA セメント(強化型酸化亜鉛ユージノールセメント)は逆根管充填材として用いる。酸化亜鉛ユージノールセメントの一種であるため歯質接着性はない。
- × b、× c、× d 選択肢の中で歯質接着性を有するのはレジンセメント、グラスアイオノマーセメント、ポリカルボキシレートセメントである。この中で接着強さが最も大きいのはレジンセメントである。ポリカルボキシレートセメントはグラスアイオノマーセメントに比べて強度と歯質接着性が小さく、主に仮着セメントとして用いる。

正解 a

DH 25:P 324

[問題 104] 32歳の男性。上顎右側第一大臼歯にクラウンを製作するために通院中である。印象採得を行うことになった。印象操作の過程(別冊午後 No.37 A、B)と各種印象法のトレー、支台歯、印象材の断面図(別冊午後 No.37 C)を別に示す。

行った印象法はどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助



図の色の違いは器具および印象材が異なることを示す。

選択肢考察

- a 本症例はシリコーンゴム印象材(パテ+インジェクションタイプ)による精密印象採得を行っている。写真Aは一次印象採得であり、トレーに盛ったパテにポリエチレンシートをかぶせて口腔内に圧接することで、一次印象体と歯列の間にインジェクションタイプが均一に入るスペースを設けている。写真Bは二次印象採得で、一次印象されたトレーにインジェクションタイプを盛り口腔内に圧接している。①には支台歯周囲に均一な厚みのインジェクションタイプが認められる。
- × b ポリエチレンシートを用いず、一次印象体と歯列の間にスペースを設けなかった場合は、②のようにインジェクションタイプの層が薄くなると考えられる。
- × c ③は個歯トレー印象法である。
- × d ④は1種類の印象材を使用した印象法である。

正解 a

[問題 105] 過換気症候群でみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 四肢の弛緩  
b 心拍数の低下  
c 血中炭酸ガス量の上昇  
d 呼吸性アルカローシス

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- d 精神的緊張や不安、ストレスが原因で過換気を起こすと、血中炭酸ガス量が減少し、体内の酸塩基平衡がくずれて呼吸性アルカローシスが生じる。四肢の硬直性痙攣、頻脈など多彩な症状を示す。

正解 d

📖 要点集 342:P60

[問題 106] 摂食嚥下障害に対する間接訓練を行っている写真(別冊午後 No.38)を別に示す。

この訓練法で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 示指を冷水で冷やしてから行う。  
b 1秒間に2往復程度の速さで行う。  
c 前歯部から臼歯部に向かって圧をかける。  
d 一定の圧をかけながら前後に指を動かす。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 写真の訓練はガムラビングである。指を冷やす必要はない。
- b、○ c ガムラビングは口腔内の感覚機能を高め、唾液分泌を促し、嚥下運動を促す効果がある。咀嚼リズム(1秒間に2往復程度の速さ)で前歯部から臼歯部に向かって圧をかける。
- × d 臼歯部から前歯部に戻る際は圧をかけないようにする。

No.38



正解 b、c

📖 DH 25:P560

[問題 107] Japan Coma Scale(JCS)の分類で、痛み刺激を与えても覚醒しないが顔をしかめる状態はどれか。1つ選べ。

- a I-1  
b II-20  
c III-200  
d III-300

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a I-1は意識清明とはいえない状態である。
- × b II-20は大きな声または体をゆさぶることにより開眼する状態である。
- c 痛み刺激を与えても覚醒しないが顔をしかめる状態はIII-200である。
- × d III-300は痛み刺激に全く反応しない状態である。

正解 c

📖 DH 25:P899

[問題 108] 高齢者にみられる基礎疾患と服用薬および副作用との組合せを表に示す。

	基礎疾患	服用薬	副作用
①	気管支喘息	サルブタモール	満月様顔貌
②	高血圧	プロプラノロール	歯肉の増殖
③	狭心症	低用量アスピリン	止血時間の延長
④	骨粗鬆症	ビスホスホネート	MRONJ

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 気管支喘息をもつ患者は気管支拡張薬を服用する。気管支拡張薬には、 $\beta$ 作用薬、ステロイド、テオフィリンがある。抗ヒスタミン薬は抗アレルギー薬として用いられ、口腔乾燥や眠気などの副作用がある。
- × b 高血圧患者は降圧薬を服用する。降圧薬には、利尿薬、ACE阻害薬、カルシウム拮抗薬、アンジオテンシンII阻害薬がある。カルシウム拮抗薬の副作用として歯肉増殖症がある。
- c 狭心症の既往がある患者は、低用量のアスピリン(抗血小板薬)を服用していることが多い。その副作用として止血時間の延長(出血傾向)がある。
- d 骨粗鬆症患者は、ビスホスホネート製剤服用により薬物関連顎骨壊死(MRONJ)を引き起こす。定期的な口腔内管理が重要である。

正解 c, d

DH 25:P 489

[問題 109] 定型発達の2歳児へ歯科治療を行ううえで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 保護者を同席させずに行う。  
b Tell-Show-Do法を用いる。  
c 緊急性のある処置は短時間で行う。  
d 体動のコントロールに重点を置く。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 保護者から診断に必要な情報を的確に聴取する、保護者に適切に病状を説明し療養の指導を行う、子どもに安心してもらうなどの理由から、保護者が同席した状態で治療を行う。
- × b これから行う治療について話し(Tell)、器具などを見せ(Show)説明し、行う(Do)という手順で進める方法で、理解力がある3歳児以上に適応する。
- c 子どもの恐怖心をとるためにも緊急性のある処置は短時間で行う。
- d 2歳頃は歩いたり、走ったり、跳ねたりといった基本的な動作ができるようになってくる時期で、好奇心が強くなっていくこともあって、子どもの行動範囲が大きくなっていくため、体動のコントロールに注意を払う。

正解 c, d

[問題 110] 一次救命処置(BLS)において安全な環境で最初に確認するのはどれか。1つ選べ。

- a 血圧  
b 呼吸  
c 脈拍  
d 意識レベル

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 一次救命処置において血圧の確認はしない。
- × b、× c 呼吸と脈拍の確認は、緊急通報(応接要請)とAED要請の次に行う。
- d 周囲の安全確認を行っているため、次は意識レベルの確認(意識の有無の確認)を行う。

正解 d

DH 25:P 855

... 索引 ...

あ アクテパトール 92 アシッドレッド 22 アスピリン 122 アタッチメントレベル 42 審さ指数 72 アナフィラキシーショック 117 アムホテリシンB 108 アラキドン酸カスケード 69 アルドステロン 3 アレルギー検査 81
い 移行上皮 66 一次印象採得 120 一次救命処置 123 医薬品医療機器等法 79 医療法 12 印象用コーピング 88 院内感染 115 インプラントアナログ 88
う ウォーキングブリーチ法 55 う窩の電気抵抗値 56 う蝕活動性試験 99, 106 う蝕検知液 22
え 栄養機能食品 110 エーカースクラスプ 89 疫学研究 15 エステティックライン 92 エストロゲン 67 エッチング 58, 103 エナメル上皮腫 8 エナメル突起 105 エラスティックチェーン 118 嚥下造影検査 47, 96 炎症の分類 68
お オーブントレー法 88 オーラルディアドコキネシス 51, 97 オフィスブリーチ法 55 オペクレジン 57
か 介護医療院 17 介護認定審査会 74 介在結節 3 介入研究 15 下顎運動路の記録 27 化学的清掃法 14 化学療法 48, 113 過敏気管炎候群 121 過剰菌 8 仮想咬合平面 90 顎下腺 5 学校歯科健康診断 46, 77, 78 学校保健安全法 77 活性型ビタミンD 65 活動電位 2 家庭用品品質表示法 16 カチコラミン 3

可撤保隙装置 95 ガムラビング 121 カルシトニン 65 感圧フィルム 21 感覚温度 72 間欠的な力 92 観察研究 15 緩衝作用 11, 106 間接訓練 60, 121 間接複製法 26 感度 74 カンファークノン 86 カンテックアークノン 68 乾酪壊死 108 緩和ケア 108
き キーアンドキーウェイ 45 喫煙 23, 40, 104, 107 基底結節 3 機能性表示食品 110 機能的残気量 66 虐待 14 臼歯結節 3 吸指癖 34 急速拡大装置 92 吸嚙反射 122 狭心症 122 局所薬物配送システム 85 嚥体外多経路 75 筋紡錘 65
く 空気感染 36 クラウンディスタルシェー 95 クラウンリムーバー 60 グラスアイオノマーセメント 41, 118 クラスプ 89 グリセロール 6 グルコシルトランスフェラーゼ 75 グルタラル 113 グレーシータイプキュレット 39, 100
け 経口補水液 110 傾斜移動 93 形状計測用スキャナー 28 経皮的動脈血酸素飽和度 62 外科的歯内療法 83 血液寒天培地 7 結核結節 68 原因療法 20 健康寿命 15 健康寿命延伸プラン 109
こ 抗悪性腫瘍薬 71 口蓋帆挙筋 64 光学印象採得 28 後期高齢者医療制度 12 口腔カンジダ症 91, 108 口腔機能低下症 35, 80 口腔内スキャナー 28 抗血小板薬 122 咬合紙 21 咬合力検査 35

口臭 76 抗真菌薬 108 口唇反射 44 口唇ヘルペス 33 口蓋裂・口蓋裂 29 行動調整法 62 高度管理医療機器 79 高齢者の医療の確保に関する法律 12, 73 誤嚥 50, 53 誤嚥性肺炎 42 コーンのプライマー 117 コクサッキーウイルス 33, 69 コシクアーチ描記法 27 個性正常咬合 31 骨粗鬆症 122 骨髄刺産子 54 コプリック錠 33 コホート研究 15 ゴム腫 70 コルチゾール 3 コルステロール 6 根分枝部病変の分類 38 根管清 73, 105
さ 再石灰化 11, 43 在宅医療 19 撮影補助具 113 サルコペニア 80 三叉神経痛 90 酸処理 58, 114
し 次亜塩素酸ナトリウム 26, 113 シーラント 103 シェーグレン症候群 91 歯科衛生士の業務記録 18 歯科衛生士法 79 歯科疾患実態調査 13 歯科用コーンビームCT 22 歯筒ブラシ 45, 73 色素沈着 23, 43, 104 子宮頸がん 69 止血剤 117 止血薬 7 自己抗体 9 歯根分離法 83 歯周基本治療開始前に説明すべきリスク 24 歯周治療の流れ 40 歯周病のリスクファクター 40, 42, 107 持針器 54 施設サービス 17 自然的清掃法 14 持続的な力 92 歯体移動 93 児童虐待の防止等に関する法律 14 児童生徒健康診断票 77 シナプス 2 歯肉縁下歯石 99, 102 歯肉炎と歯周炎の鑑別 98 歯肉退縮 24 歯肉剝離掻爬術 25 ジフェンヒドรามミン 9 篩分法 81

自閉スペクトラム症 62 歯磨剤の成分 10 シャーピング 101 周術期口腔機能管理 115 重咬咬傷 11 手術的清掃法 14 手段的日常生活動作 96 出血傾向 122 授乳・離乳の支援ガイド 44 順序尺度 10 小窩製溝装置 41, 103 上下口唇の突出度 92 焦点を絞った質問 111 静脈内注射 70 症例対照研究 15 除去用バー 60 食事摂取基準 112 食物形態 50 女性ホルモン 67 シリカ 41 シリコーンゴム印象材 21, 120 新オレンジプラン 77 神経障害性疼痛 90 人工的清掃法 14 人口統計 15 真性ポケット 98 伸張反射 65 心的外傷後ストレス障害 16 診療記録の保存期間と根拠法令 18
す 推奨量 112 垂直加圧充填 116 推定平均必要量 112 水道水フッ化物添加 43 水痘・帯状疱疹ウイルス 33 睡眠時無呼吸症候群 80 スクリーニング 74, 97, 99 スクロース 6 スケーリング 84, 105 スタテリン 11 スタンダードプレコレーション 115 ステイン 23 スパイクメトリー 97 スプレッター 116
せ 生活歯切断法 59 成熟プラーク 72 生態学的研究 15 咳テスト 97 舌圧測定器 98 舌下腺 5 摂食嚥下障害 121 摂食嚥下の5期モデル 59 摂食感染 115 舌接触補助床 35, 98 舌側訓練装置 32, 92 接着性レジンセメント 58 舌抵抗訓練 98 全歯気量 66 全部製造冠 53
そ 象牙質知覚過敏症 24, 104 即時型アレルギー 81 創方加圧充填 116 咀嚼機能検査 81

た 第一次予防 75 代償的アプローチ 47 帯状疱疹 33 帯状疱疹後神経痛 90 対症療法 20 体動のコントロール 122 第二次予防 75 代表値 10 タイムアウト法 62 唾液腺 5 唾液の作用 11, 76 多剤耐性菌 115 タフトブラシ 73 探索反射 44 炭酸カルシウム 41 胆汁 4 単純脂質 6 単純ヘルペスウイルス(単純疱疹ウイルス) 33, 69 断続的な力 92
ち 地域包括ケアシステム 19 遅延型アレルギー 81 中心結節 3, 105 中性脂肪 6 直接覆髄法 26
こ ツイードアーチペンディングブライヤー 119
て 手足口病 33, 69 低栄養 110 低温プラズマ滅菌法 80 低体重児出産 42, 107 手づかみ食べ 44 鉄欠乏性貧血 30 テトラサイクリン系抗生薬 85 天徳論 9
と 糖質系甘味料 50 トークンエコノミー法 62 トータルヘルスプロモーションプラン 109 特異性炎 68 特異度 74 特定健康診査 73 特別支援学校 48 特別養護老人ホーム 17 フッ化物歯面塗布 38, 44 特別用途食品 110 閉ざされた質問 111 ドバミン 3 トライセクション 83 トリグリセリド 6 トロンピン 7
な 内部吸収 24 軟口蓋 64 ナンスのホールディングアーチ 95
に 肉芽腫性炎 68 二次印象採得 120 日常生活動作 34

ニッケルチタンロータリーファイル 85 入院中の口腔衛生管理 48 乳歯う蝕好発部位 77 乳歯の根管充填 118 乳歯用既製金属冠 53 妊娠高血圧症 43 認知症施策推進総合戦略 77 認知症の行動・心理症状 36 妊婦への歯科的対応 55
は 肺気量分画 66 バイタルブリーチ法 55 梅毒 70 はしか 33 パンプレッシン 65 抜髄 24, 26 パッチテスト 81 歯の漂白法 55 パラトグラム 27, 61 パルスオキシメータ 62 半固定性ブリッジ 45 バントグラフ法 27 バンドループ 95
ひ ひソリーマー 59 鼻咽腔閉鎖 59, 116 非う蝕性甘味料 50 光重合型コンポジットレジン(の重合機序) 86 引き抜き試験 21 微小管阻害薬 71 ヒスタミン 3 ビスホスホネート 122 ヒトパピロマウイルス 69 ヒューマンエラー対策 18 病者用食品 110 標準予防策 115 酷かれた質問 111 比例尺度 10
ふ ファーケーションプローブ 38 フィッシャーバー 59 フィルムホルダー 113 フードテスト 97 フェイスボウトランスファー 27 フェールセーフ 18 不快指数 72 副甲状腺ホルモン 65 輻射熱 72 フッ化物歯面塗布 38, 44 フッ化物洗口 39 フッ化物の急性中毒 105 フッ化物バーニッシュ 104 フッ化物配合歯磨剤 39, 107 フッ化珪素 60 ブラークリテンションファクター 105 ブラガー 116 ブラケットポジショニングゲージ 58 ブラケットリムービングブライヤー 119 ブラジキニン 69 フラップ手術 25, 115 フラビーガム 27 フリーラジカル 80 フリオン 8 フルオロアパタイト 43 フレイル 97

は 肺気量分画 66 バイタルブリーチ法 55 梅毒 70 はしか 33 パンプレッシン 65 抜髄 24, 26 パッチテスト 81 歯の漂白法 55 パラトグラム 27, 61 パルスオキシメータ 62 半固定性ブリッジ 45 バントグラフ法 27 バンドループ 95
ひ ひソリーマー 59 鼻咽腔閉鎖 59, 116 非う蝕性甘味料 50 光重合型コンポジットレジン(の重合機序) 86 引き抜き試験 21 微小管阻害薬 71 ヒスタミン 3 ビスホスホネート 122 ヒトパピロマウイルス 69 ヒューマンエラー対策 18 病者用食品 110 標準予防策 115 酷かれた質問 111 比例尺度 10
ふ ファーケーションプローブ 38 フィッシャーバー 59 フィルムホルダー 113 フードテスト 97 フェイスボウトランスファー 27 フェールセーフ 18 不快指数 72 副甲状腺ホルモン 65 輻射熱 72 フッ化物歯面塗布 38, 44 フッ化物洗口 39 フッ化物の急性中毒 105 フッ化物バーニッシュ 104 フッ化物配合歯磨剤 39, 107 フッ化珪素 60 ブラークリテンションファクター 105 ブラガー 116 ブラケットポジショニングゲージ 58 ブラケットリムービングブライヤー 119 ブラジキニン 69 フラップ手術 25, 115 フラビーガム 27 フリーラジカル 80 フリオン 8 フルオロアパタイト 43 フレイル 97

フレミタス	84
フローイング検査	116
プロスタグランジン	69
ブロックアウト	87
プロトスタイリッド	105
プロビジョナルレステーション	53

へ	
平滑舌	30
平均寿命	15
平均値	10
閉塞性睡眠呼吸無呼吸	80
ヘッドギア	92, 93
ベッドナーアフタ	32
ヘミセクション	83
ペリオドンタルメディスン	42
ヘルスプロモーション	109
ヘルパンギーナ	33
ヘルペス性口内炎	33

ほ	
放射線治療	48, 113
疱疹性口内炎	33
ホームブリーチ法	55
ボーンサウンディング	115
保険装置	95
ポケットマーカ	117
母子健康手帳	46
補助弾線	32, 93, 119
保存療法	20
ホッツ床	29
哺乳反射	44
ポピドンヨード	52
ポリアクリル酸	114
ポリソムノグラフィ	80
ホワイトポイント	59

ま	
麻疹ウイルス	33
マルチブラケット装置	118
慢性閉塞性肺疾患	80, 97

み	
ミールラウンド	51
ミコナゾール	108
ニュータンスレンサ球菌が定着しやすい時期	11

め	
名義尺度	10
メタボリックシンドローム	73
メタルインレー修復	82
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	115
目安量	112

も	
目標量	112
モデリング法	62
モデルスキャナー	28
モノフルオロリン酸ナトリウム	39
問題志向型診療録	112

や	
薬物関連顎骨壊死	122
薬物の血中濃度変化	70
薬機法	39, 79
ヤングブライヤー	119

ゆ	
誘導脳波	6

よ	
要介護認定	74
要観察歯	77
陽性反応の集中度	74
ヨードホルム製剤	118
予防接種法	76
予防療法	20

ら	
ラバーダム防湿	57
ラムゼーハント症候群	29

り	
リコール間隔の決定	40
リドカイン塩酸塩	113
離乳期	44
リングルアーチ	32
リング状リテーナー	25
リン酸エッチング	58
リン酸酸性フッ化ナトリウム	39

る	
類天疱瘡	91
ルートセパレーション	83

れ	
レジン前表冠	57
レジン添加型ガラスイオノマーセメント	114
レスト付き二腕鉤	89

ろ	
ろう義歯試適	90
老年化指数	15

わ	
矮小歯	8

数字	
1歳6か月児歯科健康診査	75

A～Z	
A	
<i>Actinomyces naestlundii</i>	67
ADL	34
<i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i>	67
APF	38

B	
Bednar アфта	32
BI (Barthel Index)	34
BLS	123
BPSD	36
Brinkman 指数	23
B型肝炎ワクチン	76

C	
CAD/CAM	28
COPD	80, 97
CPIプローブ	99

D	
DMFT 指数	78

E	
EBAセメント	119
EDTA	26
Eライン	92

G	
Glickmanの分類	38
GTR法	117

H	
HBV	113
Hellmanの歯蝕	94

I	
IADL	96
IPC法	26

J	
Japan Coma Scale (JCS)	121
JICA	11

K	
Koplik斑	33, 70
Kファイル	85

L	
LDDS	85
Lindhe & Nymanの分類	38

M	
MFRONJ	122
MRSA	115

O	
OHI	37
O'LearyのPCR	78, 102
OSA	80

P	
PAP	35
POMR	112
<i>Porphyromonas gingivalis</i>	100
<i>Prevotella intermedia</i>	67
PSG	80
PTSD	16

R	
Ramsay Hunt 症候群	29
Red complex	7, 67, 100
Rohrer 指数	45

S	
SAS	80
SOAP	20, 112
SpO <sub>2</sub>	62
SPT	40
<i>Streptococcus mutans</i>	75

T	
<i>Tannerella forsythia</i>	67, 100
TEACCH法	62
Tell-Show-Do法	122
THP	109
TNM分類	30
<i>Treponema denticola</i>	100

W	
WHO プローブ	99

# 342

## 巻末資料..... ~臨床系~